

同志社大学における英語講読 CBI の効果¹ (2)

北 尾 謙 治

はじめに

1988年後期より、同志社大学では英語の CBI (Computer Based Instruction) のクラスを実施し、筆者はその準備段階からそれに関与してきた。その間の CBI の発展や現況は機会があるたびに、紹介してきた。²

この小論では、1990年度に筆者がコンピュータを利用して1年間行った英語講読2クラス(50名)で、どのような成果と問題があったかを報告し、より効果的な外国語 CBI を実施するのに検討しなければならない問題点を明確にする。本編(1)では、1990年度前期の報告をし、その成果を考察して、今後の検討課題を提起した。本編(2)では後期の報告をし、その成果を考察し、今後の検討課題を提起する。

夏休み中の活動

アメリカに於ける研修

ミシガン州立大学で行われた TESOL の夏期大学院の CAI のクラスを聴講した。このクラスはコンピュータラボ(コンピュータを備えた特別教室)で行われ、各自1台ずつのマッキントッシュが割り当てられた。実践を重んじるコースで、クラスの主な作業はコンピュータ操作であった。

クラスではワープロソフト、グラフィックス、ソフトを利用したドリルの作成とその原理、ソフトを利用したチュートリアル作成とその原理、表ソフトを利用した成績簿の作成、アドベンチャーゲーム、シミュレーション、データベース、オーサリングプログラムとビデオディスクとの結合が主なテー

マで、ハイパーカードや種々のプログラムを利用して、教授の指導により、種々の操作や練習問題の作成をした。

これらの操作を通して、マッキントッシュでどのようなことが出来るかを体験しながら理解できたことが、このコースの最大の収穫であった。クラスでは、種々のソフトの解説や市場に出回っているソフトの情報も提供されて、有意義ではあったが、マッキントッシュ以外のコンピュータを利用している者には直接役立つ欠点もあった。

今まで素人が思い付くままに教材を作成し、CAIのコースのデザインをしてきたが、その基本的な学習理論やCAIの実施方法は正しいことに自信を持った。教授や他の学習者の意見を拝聴して、将来の教材開発に役立つようなことは多々あり、それらを利用して後期の教材の改良をした。

プログラムの改良

CMIプログラム 夏休み中に成績管理の種々のプログラムを使用しやすいように改良し、クラス運営をより効果的にできるようにした。まず練習問題をしなかった学生の一覧表を作成できるようにした。これにより、学習しなかった者を非常に簡単に発見できるようになり、学習状況の悪い学習者に注意することが容易になった。

次に、各教材の成績表示を、学生番号順の成績表と同時に、成績のよい順と所要時間の短い順のリストも作成した。これにより各学習者の成績の善し悪しや学習の速度が容易に分かり、よい学習者をほめて励まし、悪い者には注意を与えたり、片方のみよい者にはそれなりの指導をするなど、より行き届いた個人指導が可能になった。

いくつかの解答ファイルを集計するプログラムも改良し、履修しなかった者のリスト、成績のよい順と所要時間の短い順にリストを作成できるようになり、同種の教材を学習した場合の全体の学習状況をすばやく把握できるようになった。これは個人指導の資料としては非常に重宝なものであった。

CAI プログラム 学習用のプログラムも改良し、所要時間の制限と最低得点を指定して、学習者がいずれかの要件を満たさないと再度最初からその教材を学習しなおすようにした。これにより、徐々に速く学習させたり、よりよい結果を得るように指導していくことも可能となった。また、読解の教材では、まず読物を読ませるが、この部分の時間を指定して、その時間が済めば自動的に練習問題に移行することも可能にした。このように最低得点と最高所要時間の指定で、学習者の学習方法にある程度制御することも可能になり、徐々に最低得点を上げたり、最高所要時間を短くしたりして、速く正確に学習するようになり、教材の難易度により、学習方法を変えるような教授を可能にした。

主な改善 このように、夏休み中のプログラムの改良は、沢山の教材を使用しても、各学習者の学習状況を比較的簡単にチェックして、その結果を個人指導に利用できるようにすることと、沢山の教材をシステムチックに組み合わせ、所要時間や最低得点の指定をうまく利用したプログラム学習を可能にする基盤を築くことができた。

後期の授業

毎回の授業で多くの課題を出して、相当量の教材を何とかこなせるように指導したが、2カ月余りの夏休みで、その学習内容はもちろん、せっかく鍛え上げた勤勉な学習態度もすべて忘れられた。そのために、後期の最初は、かなり逆戻りして、徐々に多量の教材をこなせるように再度訓練する必要があった。その断絶を少なくするために、1冊の読解のテキストを夏休みの宿題として、後期はそれを数回に分けてテストすると予告しておいた。これにより、後期の最初の学習意欲が多少高まっていると予想していたが、結果は予想通りにはいかなかった。

まず最初の9月19日の授業が、台風で休講になったのが、学習意欲をそぐのを助長した。26日の授業の欠席は49名中9名と非常に多かった。前期の成

績状況の説明をし、宿題を集めて、記録表を配布し、後期の予定や注意をして、後期の学習の準備を整え、うまくスタートするように試みた。練習問題もさせたが、タイプの練習をすると、2カ月余り全くしていないので、タイプをする時に注意しなければならないことも忘れていた者が多かったので、前期の最初と同様に、またタイプのやりかたの注意をしなければならないなかった。前期の最後と比較して、スピードも遅く、間違いが多いように思えた。TOEICの文法と語彙の練習問題、日本人のよくする文法の間違いの練習、パラグラフに関する練習などをして、遅くて、結果がよくなかった。特にスピードの遅いのが目立ち、用意した教材を随分と積み残したので、次のクラスでなければならなかった。コンピュータの操作に関しては、かなり忘れていた者が多かった。

10月3日からは夏休みの宿題のテストを行ったが、非常に成績が悪い。本当に夏休みに学習したのか、前日に少しでも復習したのか首をかしげた。前回の積み残しを整理して、多少新たなものも練習し、どうにか苦しみながらもクラスを軌道に乗せたが、まずいスタートは後々まで影響した。その第一はこの最初の2回のクラスを欠席した者が3名おり、掲示版を見て、多少の教材をしたものの、2名は後期が始まって1月経つ10月17日ようやく出席。他の者よりも非常に遅れてしまった。そして他の1名は脱落した。スタートは多少ゆっくりとして、誰もがつまづかず順調に、落後もせず、全員クラスにうまくついてくるようにするのはCAIのクラス運営では非常に重要だと思った。

10月10日は休日であったが、早く多量の学習に慣らせるために、掲示板を利用して練習問題の1週間分の課題を出した。このように、後期のクラスが完全に軌道に乗るのに、約3週間必要で、新学期と同じ程度の期間と労力を要したことになる。

後期の授業で混乱の他の原因は、既に説明した最低得点と最高所要時間の指定であった。今までは、何の圧力もなく学習していたのに、突如そのような制限ができ、しかも、そのどちらかに引っかかると再度しなければなら

い。もちろん指定は以前の学習成績を参照して、時間も十分に与え、最低点も2度目で20、30せいぜい40パーセント程度の緩やかなものであったが、それでも学習者には心理的に非常に重くのしかかり、学習の仕方が随分と変わってしまった者もいた。時計を見ながら学習するだけのゆとりがなかったので、多少時間を超過する者はいたようだ。それで、所要時間にひっかかる可能性が高いと判断して、慎重に解答せず速く仕上げる者が増加した。これらの指定はそれほど厳しいものでないことは何度も学習者に説明したが、一部の者にはあまり有効ではなかったようだ。また大きな教材を長い時間かけて終え、やり直しになると、その時の落胆は大きく、学習意欲をなくさせたようだ。とにかく途中からこのような障壁を導入することは問題で、徐々に慣らせるつもりでも、困難であった。

この時間と得点の指定には教師側にも問題を生じた。つまり、指定の仕方の難しさ以外に、成績処理のプログラムで、何度学習したかが判明しなかったため、誰が何回したか、そして、成績がよくても悪くても、何度目の成績かが全然分からない。それで、今までのように単純に比較することすら厳密には不可能になってしまった。また、学習者が耐えられる学習回数は普通は2度までであるが、それを指定することも出来ず、途中で諦める学習者もいくらかいたようだ。

学習効果を上げるために種々の工夫をするのはよいが、学習者の心理的な反応がどのようになるかを十分に予測できなければ、かえって悪い結果になることは十分に有り得る。新しい制度や方法を導入する場合は、注意深く徐々に慣らせるようにする必要がある。また、学習者の反応を絶えず見ていて、彼らの学習にうまく合うように調整し続ける必要もある。CAIのクラスでは、教師はこのようなことに大きな責任を負わされることになる。

1990年度後期の教材

後期は夏休みで長期間キーボードに触れていないので、まずは多肢選択問

題から始め、少しずつキーボードに慣れるように配慮した。学習者は英語の資格試験に関心が高いので、第1回と第3回のTOEICのPart VとPart VIの文法と語彙のテスト問題を実施、また、自作のTOEIC用の文法の練習問題、英語検定試験の準1級の文法と語彙の練習問題など多肢選択問題をした。

夏休み中の購読テキストの宿題は、まず最初のクラスで解答を回収し、予告をして第2回目（通算15回目）から2-3課ずつ5回に分けてテストした。

日本人が間違いやすい文法の練習問題などもクラスに変化をもたらすために実施した。前期途中までした「日米文化比較」もパラグラフ・リーディングと平行して学習した。キーボードに早く慣れるために、自由課題でタイプの練習問題も最初の7回の授業の後の課外時間にさせた。内容的には前期に使用した教材を再度使用した。

それらの教材と平行して、パラグラフを理解する教材とパラグラフ・リーディングの教材（*Understanding English Paragraphs*, 1990, 英潮社）を後期通して行った。そして、後半には「ノンバーバルコミュニケーション」（*American Patchwork*, 1990, 朝日出版）、「アメリカの祝祭日」（*Holidays in the United States*, 1989, 英潮社）、「アメリカ歴史」（*American Potluck*, 1986; *American Panorama*, 1989; *American Patchwork*, 1990, *American Portrait*, 1991, 全て朝日出版）の数百語の読物のシリーズを読む学習をした。最後にテスト的に『TOEIC 英文法』（1991, ユニコム）の一部も実施した。

以上の教材を期末試験の期間も利用して14回分のクラスの課題として割り当てた。各クラスに変化を持たせるために、毎回数種類の教材を混ぜ、作業の多肢選択問題から書き込み式の問題へ、しかもより多くタイプを必要とするように移行することを考慮して使用した。

後期使用した教材は186ファイル（3,641問題）で、自由課題のタイプの練習の22ファイル（960題）も用意した。このタイプの練習は希望者のみ学習するもので、早く終えられた者や、よい成績を取りたい者、成績が悪く、単位を取得できない可能性のある学習者用に用意した。

このすべての教材を平均的な速度で終えると、22時間4分49秒で、タイプは3時間1分21秒であった。説明を読んだり、ファイルの転送等の時間も相当かかるので、すべてを終えた者は、40-50時間コンピュータを使用した作業をしていたことになる。

後期の学習成果

タイプの結果

タイプの練習問題は希望者のみに最初の7回のクラスで割り当てた。その内最初の2回のクラスに割り当てた6つのファイルの結果を以下に示す。これは前期第2-8回のクラスの課題として練習した教材である。前期はファイル名がTYP1のプログラムを使用し、後期は改良されて時間制限と最低得点を指定できるTYPQのプログラムを使用して行った。履修者の数、所要時間、1回目と2回目の素点と正答率を表に記した。上下は同じ内容の教材である。

表1 タイプの練習結果

月日	教材名	N	TIME	ITEM	1	2	1%	2%
4 25	TYP1 Q21	37	9:40	90	88.2	89.9	98.0	99.9
10 3	TYPQ Q09	33	7:09	90	88.9	89.9	98.8	99.9
5 2	TYP1 Q22	44	26 22	100	95.1	99.1	95.1	99.1
10 3	TYPQ Q19	33	11 02	100	96.4	99 5	96.4	99.5
5 9	TYP1 Q23	42	12 19	100	97.2	99.8	97.2	99.8
10 3	TYPQ Q29	32	6 51	100	97.9	99 9	97.9	99.9
5 16	TYP1 Q34	44	12:54	40	38.1	39.6	95.2	99.0
10 3	TYPQ Q39	33	7.40	40	38.4	39.7	96.0	99.2
5 30	TYP1 Q25	50	14:28	80	76.6	79.5	95.7	99.4
10 3	TYPQ Q49	25	10:53	80	76.4	79.3	95.5	99.1
6 6	TYP1 Q26	49	4:01	50	48.0	49.7	96.0	99.3
10 3	TYPQ Q59	23	3:17	50	48.5	49.5	97.0	99.0

(上が前期, 下が後期, N=人数, 1=1度目, 2=2度目)

タイプの練習結果は、長い間していなかったにもかかわらず、正解も所要時間も向上していた。t検定をしていないので、厳密なことは言えないが、1回目はほぼ同じか少し正確にタイプができ、2回目はほとんど差がなかった。これは1回目で約96%、2回目で約99%の成果を挙げているので、これ以上伸びるのは難しいからだろう。ただ、所要時間は20-50%短くなっているのには驚いた。この大きな原因は、各教材にゆるやかではあるが、制限時間が設けられ、それを超過すれば、もう一度やり直しとなることと、前期の後半に種々の練習問題を通してタイプ技能が熟達したことが考えられる。とにかく長い休みにもかかわらず、タイプの技能は前期の前半の水準は保っており、そのスピードは前期の前半より向上している。また、練習で時間制限を上手に使用することは、効果を上げることが判明した。

後期になると前期に教えた種々のコンピュータの操作方法で、常に使用していなかったものはすっかり忘れられている。それに比べてタイプの技能が前期から落ちていないのは、やはり体で何度も繰り返して練習し、多くの教材の練習でもタイプを長時間練習して体得されているからだろう。頭で一時的に覚えたものとの差が大きいことが判明した。

自由課題であったので、3分の2以上の34人以上が学習したファイル数は、わずかに2つのみで、課題のファイル数が多いときには10人以下しか学習していない。(資料3参照)これで課題の出し方が如何に重要かが分かる。

夏休みの講読の結果

夏休みに宿題として、1冊の練習問題の付いた講読のテキストを与え、最初のクラスで解答を提出させた後に、5週間にわたってその復習問題をさせた。この問題はテキストの練習問題とは異なり、解答記入式で、スパーリングの正確さも非常に重要である。その結果を表2に示す。

表2 夏休みの宿題の結果

月日	教材名	N	TIME	QUEST	1	2	1%	2%
10 3	VEWQ Q50	44	13:51	30	14.3	20.7	47.7	68.9
10 17	VEWQ Q51	47	11:38	40	19.9	27.9	49.7	69.7
10 24	VEWQ Q52	46	9:26	35	16.3	24.4	46.7	69.8
10 31	VEWQ Q53	46	3:48	20	9.9	16.5	49.3	82.5
11 7	VEWQ Q54	43	4:18	30	14.8	23.6	49.4	78.5
	計		43:01	155	75.2	113.1	48.5	73.0

VEWQ は夏休みに改良した最高所要時間と最低得点を指定して行える書き込み式のプログラムの名称で、その50番から54番までのファイルを使用して行った。受験者は43-47名で、所要時間も13分51秒から、慣れるに従って、4分前後まで速くなっている。最初は多少の戸惑いがあるのか非常に慎重に解答を行っており、練習で慣れるに従って、その処理が速くなることがよく分かる。これから、単発的な独立した教材を多く学習するより、同形式で、シリーズになった教材を学習する方が、作業上の時間のロスや余分な気遣いが除外でき、学習効果が挙がると推定できる。

問題は正誤問題、穴埋めなど種々あるが、ヒントは用意されていない。正解はすべて1度目は50%弱で、2度目は70%弱から80%強で、単純平均で73%であった。印刷されたテキストを読んで、その練習問題もしているが、CAIの教材では読物の部分は提示されないの、以前に読んだ記憶に頼って練習問題をしなければならず、しかもテキストの練習問題と異なる練習問題なので難しいのか、十分に学習していないのか、今後このような宿題の出し方はプロジェクトの仕方として検討を要する。

英語資格試験関係の結果

公表されている TOEIC の第1回と第3回の語彙と文法問題の Part V (空所補充問題40題) と Part VI (誤文訂正問題20題) を試しにした。その結果を表3に示す。

表3 TOEICの問題の結果

月日	教材名	N	TIME	QUEST	1	2	1%	2%
9 26	FECQ Q01	45	13 50	40	20.9	30.8	52.2	76.9
9 26	FECQ Q02	44	7 02	20	9.9	14.3	49.3	71.7
10 24	FECQ Q04	42	7 45	40	17.8	28.2	44.5	70.5
10 24	FECQ Q05	41	3 53	20	9.4	13.9	47.0	69.3

FECQ は最高所要時間と最低得点を指定できる多肢選択問題のプログラムで、第1ファイルが、第1回 TOEIC の Part V、第2ファイルが Part VI、第4ファイルが第3回の Part V、第5ファイルが Part VIである。所要時間はタイプ同様、慣れるに従って速度を増している。正答率は50%前後で、4肢選択としてはよくない。しかし、これらを TOEIC の得点に換算すると、順に380点、440点、350点、380点程度であった。これは「通常会話で最低限のコミュニケーションができる」Dレベルの中間で、英語専攻でない2年生の英語力としては満足できる。

TOEIC や英語検定試験の文法と語彙の練習問題を作成して実施した。その結果を表4に示す。

表4 自作の語彙と文法の練習問題

月日	教材名	N	TIME	QUEST	1	2	1%	2%
12 19	FECQ Q09	45	8 43	50	21.6	33.5	43.2	66.9
10 3	FECQ Q10	44	13 47	50	24.8	37.0	49.6	74.0
9 26	FECQ Q11	43	9 46	40	25.7	33.2	64.1	83.0
9 26	FECQ Q12	43	9:27	40	24.0	32.1	60.1	80.3
10 3	FECQ Q13	40	10:34	50	24.9	35.8	49.8	71.7
10 8	FECQ Q14	42		60	29.8	44.4	49.7	74.0
10 8	FECQ Q15	42	7.34	40	22.1	31.2	55.2	78.0
10 8	FECQ Q16	42	10:17	50	22.4	34.1	44.7	68.1
10 17	FECQ Q17	44	8:16	50	31.6	41.3	63.1	82.7

9番のファイルが、英検準1級の文法、10番のファイルが同じテスト用の

語彙, 11-17番ファイルは TOEIC 用の文法練習問題で, すべて4肢選択問題である。最高は11番の64.1%で, 5つのファイルにおいて, 半分以下の正答率である。テストと同じように問題が作成されているので, ヒントがなく, 2度目の解答でも66-83%の低い正解である。多肢選択が必ずしも易しいとは言いがたい。ただ学習者にとっては書き込み式の練習より, 多肢選択式の練習の方が, 気楽に取り組める。

日本人が誤りやすい文法事項の結果

以下に日本人が誤りやすい文法事項の練習の教材8ファイル(各30題)の合計を記す。内容的には易しいレベルだが, 書き込み式で, ヒントもない。

表5 日本人の誤りやすい文法練習

月日	教材名	N	TIME	QUEST	1	2	1%	2%
9 26	FEWQ Q41	40	22:26	30	19.6	23.6	65.4	78.8
10 3	FEWQ Q42	45	21:01	30	16.8	19.8	55.9	66.0
10 3	FEWQ Q43	45	18:43	30	16.5	18.6	54.9	62.0
10 24	FEWQ Q44	35	19:32	30	16.1	18.7	53.6	62.2
10 8	FEWQ Q45	42	18:09	30	15.8	17.6	52.5	58.7
10 8	FEWQ Q46	42	15:25	30	17.4	19.5	57.9	64.9
10 17	FEWQ Q47	36	18:54	30	18.1	20.3	60.4	67.8
10 17	FEWQ Q48	40	21:33	30	14.6	16.7	48.6	55.7
	計		2:35:43	240	134.9	154.8	56.2	64.5

日本人の苦手なものだけに, 1度目の解答では最高65%, 最低49%で, 平均で56%しか正解していない。2度目でもヒントがないので, ようやく65%である。このような苦手なものを集めた自習用の教材を学習させるのは効果を挙げる可能性が高い。ただし, よいヒントを準備する必要がある。また, ヒント作成にあたっては学習者の間違いをよく分析してその訂正を如何にするかを考慮しなければならない。

パラグラフ・リーディングの結果

パラグラフの理解と読解が後期の学習の中心課題である。これには英潮社から出版した *Understanding English Paragraphs* の元の原稿を CAI の教材化したもの (66ファイル, 1490問題) を使用した。昨年は同社から出版した *Writing English Paragraphs* を使用したが、これには書き込み式の練習問題がかなりあり、用意された正答と学習者の解答が一致する可能性が低く、学習者には正解に近い解答であればよいと指示しておいたが、完全に一致しない限り、コンピュータのフィードバックとしてスクリーンに現れるのは不正解となるので、学習者には非常に負担になっていたことと、パラグラフ・リーディングの理解度チェックの練習問題がなかったことの二つの理由で教材を変更した。

パラグラフ・リーディング (28ファイル, 351問題) とパラグラフを理解する学習は平行して行った。まず直読直解のパラグラフ・リーディングでパラグラフの内容を理解する。この方法は1ファイルに2-3のパラグラフがあり、それをまず読んで、それに関する質問が各パラグラフに5-6題あり、解答も用意されているが、その重要な単語や単語群が括弧で消されているので、それを補って完全な文をタイプする。それ故、タイプミスによる不正解も多少は含まれる。間違った場合はもう一度同じパラグラフを読んでから再度答える。2度目は質問があらかじめ分かっているので、その解答を見つけるように読めばよい。28ファイルの結果の集計を表6に記す)

表6 パラグラフ・リーディングの結果

教材名	TIME	QUEST	1	2	1%	2%
VEWQ 71-98	6:02:33	351	135.4	216.2	40.5	64.7

(成績処理で何等かのトラブルが発生して1ファイルの結果が得られなかった。また残りの2ファイルの所要時間の平均も得られなかった。)

各教材ファイルの最高所要時間は40分、最低得点は30%に設定した。つま

り、40分以上かけて学習した場合や、2度目の正解率が30%以下の場合やもう1度最初から同じファイルをやリ直さなければならない。表6から分かるように、25ファイルの平均所要時間は14分半で、27ファイルの2度目の正解は64.7%であるので、無理なく終えることが可能だが、ごくわずかの者は時には2度しなければならなかった。学習者は40分以上かけてようやく終えたら、もう一度するようにコンピュータに指示された時には、ため息をついて落胆していた。CAIのクラスで明確になったことは各個人の学習速度や正答率があまリにもかけ離れていることで、最高所要時間や最低得点の設定は非常に慎重にしないと、逆効果になる危険性も非常に高い。

学習者は直読直解の訓練は受けていないので、1度目の正解は40%余りである。最初にパラグラフを読んで、その理解と記憶により練習問題をやるのだが、話の要点を十分に記憶していないので、間違いが多いと推測する。英語に慣れていないので、短期メモリーが長期メモリーに変化できないのだろうか。2度目の正解は約65%であるが、この場合は既に問題を知っているもので、解答を発見する作業のみでよいのだが、それでも結果はよくない。学習者は英語を書く訓練を十分に受けていないので、スペリングが正確でなく、間違ふことも多くある。とにかく多くのパラグラフを利用して直読直解の練習をもっとする必要がある。

パラグラフ理解の結果

パラグラフ理解の練習は、既に読解練習をして内容を理解したパラグラフを例として含んだパラグラフの解説を通して、パラグラフに関する種々の重要なことを学習するように工夫した。まずパラグラフとはどのようなものか、どのような構成になっているか、どのように展開しているか、トピックセンテンス、メインアイデア、文の接続やつながりなどを学習して、記述、物語、説明、意見表明、比較対照、因果関係などの各種のパラグラフの個別の学習を行う。これでパラグラフの構成や特徴を中心に学習する。これも最高所要

時間は40分、最低得点は30%に設定して実施した。

表7 パラグラフ理解の練習結果

教材名	TIME	QUEST	1	2	1%	2%
Q1-Q66	5:26:02	1474	1005.5	1184.5	68.2	80.4

この教材は解説部分と練習問題からなっており、問題の多くは、パラグラフの分析で、パラグラフを構成導入部、論議部と結論部の文、トピックセンテンスや、そのパラグラフに含まれるべきでない文、理由を述べたり、例を挙げている文等を各文に付けられた番号で指摘したり、各パラグラフの特徴を表す単語を指摘したりする問題が多い。数字で解答するものが多く、学習者は比較的気楽に取り組んでいた。練習を重ねるに従って、パラグラフの構造はかなり理解できるようになる。学習者も同じ認識を持っていたようだ。

日米文化比較の読解教材

1990年度後期のCAI英語購読の重要な目的の一つはパラグラフ・リーディングで、パラグラフの構造をよく理解して、その中の情報を的確に速く読み取る訓練である。その一貫として自作の日米の文化比較のパラグラフを読ませ、5-10題の内容理解の問題に答えさせる教材も14ファイルで、127題実施した。この教材の半分は日本のことで、学習者がよく知っていること、半分はアメリカのことで、学習者の未知のことである。このシリーズの教材は前期にもクラスに変化を持たせるために4ファイル実施した。

教材はシリーズで同じ種類のものではあるが、各々内容は全く別のものなので、比較するのは厳密には無理であるが、前期の成績と後期の成績を単純に比較すると後期の方が明らかによい。また、所要時間が非常に速くなっているのが目立つ。

後期の方は、第14-19回のクラスに分けて実施したが、それと平行して実施していたパラグラフ・リーディングの練習は28ファイル中の11ファイル、

表 8 「日米文化比較」の結果

月日	教材名	N	TIME	QUEST	1	2	1%	2%	
前期									
6 27	VEW1 Q51	49	9:31	10	4.3	6.9	42.9	69.0	
6 27	VEW1 Q52	49	7:49	10	5.4	7.5	54.1	75.1	
6 27	VEW1 Q53	49	8:01	10	5.2	6.8	51.6	68.2	
7 4	VEW1 Q54	49	8:15	10	4.0	5.8	40.0	58.0	
	計		2:03:36	40	18.9	27.0	47.3	67.5	
後期									
10 3	VEWQ Q55	42	3:05	5	2.9	3.8	57.6	76.7	
10 3	VEWQ Q56	42	5:18	10	5.7	7.6	56.9	76.4	
10 3	VEWQ Q57	42	5:04	10	5.9	8.0	59.3	80.0	
10 8	VEWQ Q58	41	5:00	10	6.0	8.4	60.2	83.7	
10 8	VEWQ Q59	36	3:43	8	5.1	7.4	64.2	92.7	
10 8	VEWQ Q60	43	5:36	10	5.4	7.8	53.7	78.1	
10 17	VEWQ Q61	41	4:17	10	6.2	8.6	62.4	86.3	
10 17	VEWQ Q62	41	5:28	10	5.9	7.9	59.0	78.5	
10 24	VEWQ Q63	42	5:08	10	5.5	7.8	55.2	78.1	
10 24	VEWQ Q64	42	4:32	10	6.3	8.5	62.9	84.8	
10 24	VEWQ Q65	42	4:55	8	4.4	5.8	54.8	72.9	
10 31	VEWQ Q66	45	4:26	8	3.7	5.9	46.1	74.2	
10 31	VEWQ Q67	45	5:26	10	4.5	7.6	45.1	75.8	
10 31	VEWQ Q68	45	4:58	8	3.1	5.4	38.3	67.8	
	計		1:06:56	127	70.6	100.5	55.6	79.1	

パラグラフ理解は66ファイル中の13ファイルをその期間に終えていたので、その効果があったと見なすべきか、たまたま後期の方がよく出来たとみなすかの判断は難しい。しかし、パラグラフ理解では、ファイル数は少ないものの、パラグラフの基本的なことはすべてその13ファイルで指導し終わっていたので、何等かの効果があったと判断するのがよいだろう。

CAI 指導の経験による主観的な判断では、学習者は新たな種類の練習には非常に慎重に時間をかけて学習するが、慣れると安心感をもって、非常に速

く学習する傾向があるので、慣れの安心感とパラグラフリーディングを他にもしているのです、このような読み方に慣れてきたため練習の所要時間が後期は非常に速くなったのだろう。

所要時間は後期になると非常に改善している反面、理解を試す問題の方は、さほど向上しているとは思えない。読む内容は日米文化比較で、日本のことの方はよく理解しているにもかかわらず、低い点数であったのは残念であった。理解を試す方法が、質問文に対して解答文を用意し、その中に解答として重要な情報部分を穴で開けて、それを完成する形式である。解答は既にあるものの、穴の中は1語とは限らないのが、学習者に言わせると難しい要素である。また、内容を考えるためか、タイプミスがあり、その上、単語のスペリングが正確に身につけていないために起こる間違いが結構多い。今後のためにも内容的な間違いか、単なるスペリングの不注意、または単語力の間違いかを検討してみる必要がある。

読解テストの結果

前期のオリエンテーションが済み、タイプの練習をして、本格的な英語CAIの授業に入る時と後期の最後に近い授業で、同じ読解のテストを実施した。これは以前に数千人の大学生を対象に英語読解力調査をした折りに使用した二つのパラレルのテストで、読解部分はもちろん、指示も問題もすべて英語で、4肢選択問題である。5つの部分からなっていて、順に説明文、会話文、エッセイ、時事文、詩である。ペーパーテストでは各B4の大きさ1頁に納まる分量である。(ペーパーテストの結果は参考文献を参照)

エッセイと時事文を除いては、成績が下がっているが、いずれの場合もその差はわずかなので、t検定をすれば恐らく有意差はないだろう。しかし、注目すべきことは、所要時間で、約半分かそれ以下に短縮されている。これは最初は学習者はコンピュータを使用してこのようなテストをするのは初めてで、慣れない時は非常にゆっくりと学習する。しかし、半年以上が経ち、

表9 読解テストGの1度目の結果(第4回)

月日	教材名	N	TIME	QUEST	素点	%	
5 9	VIC1 Q90	49	6 09	5	2.4	47.8	説明文
5 9	VIC1 Q91	49	5・15	5	3.6	72.7	会話文
5 9	VIC1 Q92	49	6:56	5	2.8	55.1	エッセイ
5 9	VIC1 Q93	49	9:48	10	4.7	47.1	時事文
5 9	VIC1 Q94	49	4.48	5	2.5	49.4	詩
	計		32 56	30	16.0	53.3	

表10 読解テストGの2度目の結果(第23回)

月日	教材名	N	TIME	QUEST	素読	%	
12 5	VICQ Q90	47	2・44	5	2 3	46.4	説明文
12 5	VICQ Q91	47	2:46	5	3.3	66.0	会話文
12 5	VICQ Q92	47	3・20	5	3 0	60.0	エッセイ
12 5	VICQ Q93	47	4 30	10	4.8	48.1	時事文
12 5	VICQ Q94	47	2・26	5	2 2	44.3	詩
	計		15:46	30	15.6	52 0	

まる4か月以上の学習で慣れるに従って、非常に速く教材を処理するようになってきている。また、後期から、所要時間を超過した場合は再度最初から問題をしなければならず、その影響が強いのもかもしれない。

このテストの欠点は、直線(リニア)方式で、最初に読物があり、その後問題があるが、問題を見て、再度読物を見たい場合は、最初まで、それまでの問題をすべて通って戻らなければならない。10番の問題であれば、1-9番の問題をすべて画面を変えて見てからでないと読物に戻れず、問題に戻るのも再度逆方向の同じ手続きが必要で、1画面を変えるのは簡単で速くとも、沢山の画面を変えるのは非常に面倒である。学習者の中には、そのような面倒をせずに、とくに最後の方の問題は適当に想像して解答する者もいた。

ランダムアクセスができるデジタル方式であれば、問題が分からない場合、すぐに読物を読むことができ、また読んだ後にすぐに問題に戻れる。このよ

うな直線のプログラムであれば、せめて教材の方で、読物を問題の間にも配置して、何度も画面を変えずに作業ができるようにする必要があることを痛感した。ただ、途中で読物を何度も入れると、読む必要のない学習者もそれを画面上で見なければ次の問題に進めなくなり、それによるわずらわしさが起こる。今後これらの支障による成績の低下の調査をしてみても、どの程度に組み合わせるのが最も効率がよいかを見極めなければならない。

このテスト結果より、学習スピードは非常に速くなった反面、このように成績が上がっていないのは、効果がないのか、このテスト形式のプログラムの操作が複雑でそのために学習効果を挙げていないのか、教材の配置の問題か、その他の理由によるものか、それともそれらの組合せの理由によるのか今後検討する必要がある。ただ「日米文化比較」の教材と同じ傾向を示していることは十分に考慮しなければならないだろう。

読解テストGと同じ形式で、読む文章がより長く、複雑なテストHを第26回のクラスで実施した。

表11 読解テストHの結果 (第26回)

月日	教材名	N	TIME	QUEST	素点	%	
1 9	VICQ Q95	47	4 08	10	4.3	43.4	説明文
1 9	VICQ Q96	47	4・28	10	4.5	44.9	会話文
1 9	VICQ Q97	47	3・16	5	2.1	42.6	エッセイ
1 9	VICQ Q98	47	3.07	5	2.0	40.0	時事文
1 9	VICQ Q99	47	2:04	5	1.9	38.7	詩
	計		17・03	35	14.8	42.3	

このテストは読解テストGよりかなり難しいが、それにしても結果が悪すぎる。その反面、所要時間は非常に速く、17分3秒であるが、これはペーパーテストでした場合の平均の2倍以上の速さになる。テストGと比べても速すぎるので、どうも読物を十分に読まずに、読んだ印象と適当な想像で解答した兆候がある。学習者がどのように学習しているかを見極める必要はある。

とにかく早急にプログラムか教材の改善と今後どのように利用するかを十分に検討しなければならない。

読解教材の結果

パラグラフリーディングで読解の基礎を築いた後に易しい長い読物を読む練習もした。まず、*Holidays in the United States* [アメリカの祝祭日] (英潮社：1989年) の各課の読物とスキミング及び正誤問題を CAI の教材にしたものを実施した。以下にその結果を示す。(ファイルの番号はテキストの章の番号と一致している。例えば VEW1 Q84 は第 4 章の Valentine's Day のスキミング問題 3 題と正誤問題 12 題である。)

表12 「アメリカの祝祭日」の結果

月日	教材名	N	TIME	QUEST	1	2	1%	2%
11 7	VEW1 Q81	21	7:45	10	3.5	4.5	35.0	45.0
11 7	VEW1 Q82	18	8:38	12	6.5	7.3	54.2	61.1
11 7	VEW1 Q83	16	9:52	15	5.7	6.9	37.9	45.8
11 7	VEW1 Q84	16	8:40	15	5.6	6.8	37.5	45.0
12 5	VEW8 Q85	43	6:57	15	5.5	6.5	36.4	43.3
12 5	VEW8 Q86	41	5:31	17	8.5	9.8	49.8	57.5
11 14	VEW1 Q87	21	6:57	12	6.6	7.4	54.8	61.9
11 14	VEW1 Q88	20	7:56	12	5.0	5.8	41.7	48.3
11 21	VEW1 Q89	36	6:05	21	9.9	11.9	47.1	56.5
11 21	VEW1 Q90	35	8:48	12	5.2	5.9	43.6	49.3
12 5	VEW8 Q91	40	6:21	14	6.4	7.5	46.1	53.9
12 5	VEW8 Q92	34	5:46	16	8.4	9.6	52.2	60.3
12 5	VEW1 Q93	40	8:41	13	7.1	8.1	55.0	62.7
12 5	VEW8 Q94	29	6:43	17	6.1	7.4	35.9	43.8
12 5	VEW8 Q95	22	6:36	14	6.5	8.2	46.8	85.4
12 5	VEW8 Q96	22	5:47	13	6.3	7.3	48.6	55.9
	計		1:57:03	228	102.8	120.9	45.1	53.1

内容的には徐々に難しくなるように考慮した教材ではあるが、成績と所要

時間ではさほど差がない。やや所要時間が短くなっている傾向は見られるが、成績は1度目で、35%—55%の間で随分と難易度が異なる。

この教材の欠点はスキミングの練習問題では、解答を完全文で書かせたことと、正誤問題は、誤りの場合は正しくなるように書き直さなければならないことである。学習者は中学、高校、大学を通して文を完全を書く訓練は受けていないので、完全文を要求して書かせることはほぼ不可能に近い。完全文を書くのがおっくうなので、正答と解答している学習者も何人か見つけた。

他の読解教材のシリーズとして、*American Patchwork* [アメリカンパッチワーク] (朝日出版：1990年) の一部のノンバーバルコミュニケーションのセクションをCAIの教材化した。そして、スキミング問題、正誤問題、その他の問題を練習問題とした。以下結果は各課の順にファイル名をつけた。

表13 「ノンバーバルコミュニケーション」の結果

月日	教材名	N	TIME	QUEST	1	2	1%	2%
10 24	VEW1 Q33	33	3:25	5	2.6	4.4	52.0	88.0
10 24	VEW1 Q34	34	10:03	26	13.5	16.7	51.7	64.3
10 24	VEW1 Q35	14	11:38	11	1.9	3.5	17.5	31.8
10 31	VEW1 Q36	17	9 59	11	5.7	7.7	51.9	70.1
12 5	VEW8 Q37	43	6:55	21	9.3	13.0	44.5	61.9
10 31	VEW1 Q38	13	4.25	4	1.1	1.5	26.9	36.5
10 31	VEW1 Q39	13	9:16	26	13.5	16.5	51.8	63.3
	計		55:41	104	47.6	63.3	45.8	60.9

これも「アメリカの祝祭日」同様、スキミングの練習問題は完全文を書かせたのはまずかった。完全文を一つの誤りもなく書かせるのは非常に難しい。また、各パラグラフの主旨や主なことを書き出した文を話の順に並べる問題も難しかった。クローズ問題と称し、内容を基に書き直した英語の文章の重要語を空白にした問題は、我々のプログラムではうまく作業がしにくい欠点があることも判明した。ヒントの代わりに全文章をもう一度読み直させるのは、点数の上からは効果が疑問視される。今後はその解答が見いだせるバラ

グラフ程度をヒントとして提示するのがよいと考えた。とにかく、私の考えているような教材では、非常に難しすぎるようで、いかに学習者の理解の範囲に教材が入るようにするかの検討が必要である。

朝日出版から出版したアメリカン P シリーズの *American Potluck* (1986), *American Panorama* (1989), *American Patchwork* (1990) と *American Portrait* (1991) の歴史のセクションの読物を時代の順に並べなおして、正誤問題をつけた CAI の読解教材も作成した。

表14 「アメリカ歴史」の結果

月日	教材名	N	TIME	QUEST	1	2	1%	2%
12 19	VEW8 Q01	23	1:59	10	5.4	8.7	54.3	87.0
12 19	VEW8 Q02	23	1:48	10	6.1	9.4	61.3	94.3
12 19	VEW8 Q03	23	2:29	12	6.8	11.6	56.5	96.7
12 19	VEW8 Q04	23	2:10	13	7.7	12.7	59.2	98.0
12 19	VEW8 Q05	23	2:18	13	8.4	12.0	64.9	92.3
1 9	VEW8 Q06	33	1:44	12	7.9	11.8	65.9	98.0
1 9	VEW8 Q07	33	1:28	10	6.0	9.9	60.0	98.8
1 9	VEW8 Q08	32	1:54	15	9.4	14.8	62.9	99.0
1 9	VEW8 Q09	32	1:20	10	7.1	9.7	70.6	96.9
1 9	VEW8 Q10	32	2:13	15	9.4	14.0	62.5	93.1
1 14	VEW8 Q11	21	1:35	16	9.2	15.4	57.7	96.4
1 14	VEW8 Q12	19	1:09	11	6.3	10.7	56.9	97.6
1 14	VEW8 Q13	18	1:07	13	7.7	11.9	59.4	91.5
1 14	VEW8 Q14	18	0:56	10	5.1	9.0	50.6	90.0
1 14	VEW8 Q15	18	1:10	13	7.4	12.2	57.3	94.0
1 14	VEW8 Q16	17	0:56	7	4.1	6.3	58.8	89.9
	計		26:16	190	114.0	180.1	60.0	94.8

これは正誤問題なので、本文にないものも含めて、多少まぐれ当りを少なくしたが、50%近い正答率があるので、容易なように見える。しかし、ヒントの提示の仕方などのまずさは「ノンバーバルコミュニケーション」と同じである。ただ読物は容易なだけに、学習者は気楽に取り組み、比較的楽しんで

で作業をやっていた。問題の難易度の重要性を感じた。

長い読物を何度も画面を変えて読むのは問題がある。画面を変える作業が内容理解を妨げるのか、画面の異なる場合には情報がつながらぬのか、画面で見ているから理解しにくいのか、単に画面で読むことに慣れていないからかは明確でないが、長い読物をコンピュータを通して読ませることには疑問がある。学習者からも画面で見るとより、プリントで読む方が理解しやすいとの意見を聞いている。夏休みの宿題のように、長いものはプリントで読ませて、その理解度のチェックをコンピュータでするのがよいのかも知れない。この場合、学習者はいつでも読物を読めるので、読物の提示の方法、順番、時間などの制御が全く不可能になるし、ヒントの提示も新たな方法を考えなければならなくなる。プリント教材とコンピュータの同時利用は今後の重要な検討課題である。

自習用学習教材の結果

学習者が簡単に自習できる教材として「TOEIC 英文法」(ユニコム：1991年)の最後の数章をCAIの教材化し、試しに実施してみた。³ 筆者の開発した教材で、これだけが説明部分が日本語で、例題も日本語訳がつけてある。読めば十分に分かる程度の易しい教材で、英語の4肢選択の練習問題がつけてあるが、ヒントは日本語である。

表15 TOEIC 英文法の結果

月 日	教 材 名	N	TIME	QUEST	1	2	1 %	2 %
12 19	VECQ Q51	45	7:12	38	26.5	34.1	69.7	89.6
12 19	VECQ Q52	46	9:21	43	29.0	38.2	67.4	88.8
12 19	VECQ Q53	45	11:18	60	33.6	49.9	56.1	83.1
	計		27 51	141	89.1	122.2	63.2	86.7

最後のファイルは実力テストで、問題のみであるので少し難しい。それ以外は3分の2は正解している。最初から学習すれば、70-75%位はできそう

な問題で、自習用に使用できるものであることが判明した。

日本語で解説されているので、気楽に取り組み、ほっとした感じだとの学習者の意見が多かった。教材は多くの種類を作成して、学習者の心理的な側面を考慮すると共に、変化をつけた学習をさせるようにしなければ、効果があがりにくいのではないかと思う。

本人のみで学習する教材は、この教材程度か、さらに易し目のもので、解説などが十分に分かるものでないと効果を発揮できないであろうことが判明した。教材は難し目よりも易しい目の方が安全であるが、どうしても作成すると難しくなりすぎるのが現状である。

後期の授業の反省と今後の課題

CAI 教材の反省

いろいろと試しに CAI 教材を作成してみたが、まず、教材は非常に分かりやすく、説明が明確で、しかも、豊富な例を盛り込んだものでなくてはならない。多くの場合に学習者は何をしているかを見失うことがあるが、これは絶対に避けなければならない。作業の手順は十分過ぎる程度に指示しないと全然違う作業をする者が必ずいる。

解答の難易度はこれではすぐに分かるだろうと判断する程度がちょうどよい。てごたえのあるようなものは難しすぎて、学習者は諦めて解答をしないか、めちゃくちゃな解答をする可能性が高い。

易しいのみでなく、解答方法が易しいことも重要である。完全文を書かせるような問題は、そのような練習を積み、かなり慣れてからでないとは無理であろう。

解答方法は、あくまでもその練習の目的を達するものであればよい。英作やタイプの練習を含めるのでない限り、完全文をタイプさせるのは必要ないし、時間的にも無駄が生じる。

読物はあまり長すぎるものより、適当に短いものを沢山の方が効果が高

いようだ。とにかくCAIの一つの特徴は、易しい教材を沢山練習して体得するのに適しているとの確信を得た。

体得されたことは、容易には忘れない。単に頭のみで記憶するから忘れるので、CAIは重要なことを何度もして体得するには適した学習方法である。

コンピュータの責任にして、単に文字のみの教材をコンピュータを利用して提示することのみにより使用してきた。しかし、長い読物はプリント教材の方が効果が挙がる可能性もあり、しかも自宅での学習や復習を可能にする。これはテープ教材でも同じで、プリントやテープと組み合わせたCAIの教材化を検討する必要がある。

CAIの教材の批判の一つに、教材はコンピュータを使用している時にしか利用できないことで、しかも、コンピュータはいつも簡単に使用できるとは限らない。プリントやテープであれば、自宅学習を可能にもする。

コンピュータを使用することにより、種々の学習方法が可能となるので、いろいろと工夫して教材を作成し、効果の挙がる語学教育を追求して行きたい。

プログラムの改良

1990年度の授業を反省して、プログラムの改良をした。最大の改善は、成績の統計処理のプログラムで、今までは書き込み式の問題の誤答を学習者別にリストしたものを改良して、問題別で、しかも一度目と二度目の誤答をリストするプログラムを完成したことである。これにより、クラス全体の各問題の問題点が明確になり、容易にクラスに注意したり、教材の改良をすることが可能となった。

学習者が学習しやすいようにプログラムの改善もした。教材は最初に問題数、ヒントと正解の提示の有無、最高所要時間と最低得点、最高時間を超過した場合か最低得点を下回った場合何度までやり直すかを最初に提示するようにした。これにより、学習者はどのような条件で学習するかよく分かるよ

うにした。また画面に時計を出して、所要時間がよく分かるようにした。そして、さらに、学習条件を時々画面に出すように後日改良した。これにより、学習者は絶えずどのような状態で学習しているかがよく分かるようになった。また、成績処理の解答ファイルには何度学習したかを記録できるようにもしたので、どの学習者が何度したかが分かると同時に、教材の難易度も一目で分かるようになった。

さらに強力な道具として、上記の学習条件を教授者でなく、学習者が各自自己の能力を考慮して設定できるプログラムも作成した。これにより、学習者の主体的な自習が行えるようになった。学習は学習者の能力やニーズに合った個別のものであるとの考えを持ちつつ CAI を運営してきたので、このプログラムの完成は私たちの目指してきた個人個人を大切に、個別化学習を確立する上で大いに意味をもつ。

残念なことに学習者がどれだけの教材を学習したかの一覧表を作成するプログラムは時間的に作成できず、多くの教材を学習した場合の集計は今だに集計するのは労力を要するが、集計のプログラムを上手に使用すれば、全部のファイルを個々に勘定するよりは多少容易にできる。簡単な操作で、全体と個々の学習者の学習状況を把握することは、個人指導を徹底する上で非常に重要であるので、今後もこの方面の改善は必要である。

ドイツ語の鈴木先生の努力により、NEC 98 のコンピュータでも日立 2020 でも動くプログラムが完成、これさえあればどちらでも使用できるようになった。また、グラフィックスを使用して、美しい色彩の表紙も完成して、楽しく CAI を学習することも可能になった。学習者の動機付けのために、やはり見栄えのよい教材も開発していかなければならないだろう。

まだまだ欲を言えば、改良すべき所は沢山あるが、一応文字のみの英語 CAI を実施して、その結果を集計し、授業に生かし、行き届いた個人指導もし、教材を改良していけるだけのものは完成した。今後は多くの先生方に使用してもらって、意見を集約して改良したいと思っている。また、多くの学

習者の学習成果を分析して、どのような教材で、どのように指導するのがより効果を上げるか緻密に研究していく必要もある。

教材の改良

今まで種々の教材を作成してきた。明かにまずいことは使用すればおおよそ分かるので、改良してきたが、細かいことや、各問題が果してどのように学習者に反応されているかは具体的に分からなかったが、プログラムの改良で、それも可能になった。その後は可能な範囲で問題の訂正をした。原則として、60%か50%以下の正解の問題の解答を分析して、ある傾向があれば、それを除去するように改良した。問題の問い方などで、ある誤解を与えている場合は、この方法で十分に改良できる。しかし、ただ難しいのみであれば、問題を変えるか、そのままにしておくかは状況により判断した。学習者の反応を見て、教材を作成することが如何に大切であるかを悟った。

このようにして教材の解答を分析すれば、どの程度の難易度で、どのように練習問題を作成すれば、安全な教材が開発できるかのおおよその理解も得られた。それを基に、ネイティブスピーカーの協力を得て、新しい教材の作成もしてきた。今後は学習者の好みやニーズに合う教材を見いだしていくことも必要と思っている。

沢山の教材を用意して、個々の学習者の興味や関心、英語力などにより、種々の教材を組み合わせ、その学習者に適した学習を可能とするような個別化学習を目指したい。そのためにも、学習者の興味や関心の調査も必要で、まだどのような教材を彼らが高く評価するかの調査も必要である。

教材のプログラム化は非常に難しいので、プログラム学習の理論の研究も行い、システマチックな教材を作成することも今後は重要と考えている。

参考文献

- 北尾謙治・宮本英男 1982 大学生の英語読解力——調査による考察 同志社大学英語英文学研究 30号 135-165.
- 北尾謙治・宮本英男 1983 大学生の英語読解力の問題点——誤答の傾向と推移 同志社大学英語英文学研究 32号 118-142.
- Kitao, K., & Miyamoto, H. (1983, October 27). Survey report on college students reading ability *The Daily Yomuri*, p. 7.
- Kitao, K. & Miyamoto, H. (1983, November 3). Tests to check reading comprehension studied *The Daily Yomuri*, p. 7
- 北尾謙治他 1985 大学生の英語読解速度の研究 中部地区英語教育学会 「紀要」 14号 168-174.
- 北尾謙治・吉田信介 1985 大学生の英語読解力とそのスピードの研究 中部地区英語教育学会 「紀要」 14号 28-34
- 北尾謙治・吉田信介・吉田晴世 1986 大学生の英語読解力の問題点——誤答の類型と原因 中部地区英語教育学会 「紀要」 15号 8-13
- 吉田信介・北尾謙治 1986 5つの読解テストを利用した大学生の英語読解速度及び理解度の研究 中部地区英語教育学会 「紀要」 15号 183-188

Synopsis

Effects of English CBI at Doshisha University (Part 2)

Kenji Kitao

In this paper, I will discuss English reading CBI classes in the second semester of 1990 and what can be done to improve them.

I audited the CAI class at TESOL Summer Institute in 1990. It reassured me that the materials we developed at Doshisha University are based on sound theories for CAI.

During the summer of 1990, we improved our programs. We changed the CMI program to get lists ranked by score and time, making it easier to check individual students. We changed the CAI program to allow us to set a maximum time and minimum score.

Since students had not worked with a computer during the break, they required more time to do exercises. It is necessary to give students fewer files at the beginning of the second semester and gradually increase the assignments.

I gave the students a textbook to study during the summer and gave them tests on it afterwards. The results were not good.

Setting maximum times and minimum scores changed students' study behavior. Standards were set at a level almost everyone could meet, but there seemed to be a psychological barrier. Students who did the same file again seemed to lose motivation. Psychological aspects of learning were important to CAI.

During the second semester, I introduced questions like those on standardized tests; gave tests on summer homework; assigned materials on paragraph organization, nonverbal communication, holidays in the

United States, American history, and gave TOEIC grammar problems. I gave assignments with various types of material to provide a variety of tasks, arranging them from those requiring less typing to those requiring more.

I gave students the typing exercises from the first semester again. Scores were slightly higher (probably a ceiling effect, since scores were already high) and times 20-50% faster. Typing exercises were optional, and less than two thirds of the students did most files. When there were many other assignments, few students did the typing exercises. It is important to be aware of how much work students can do each week.

The results of the summer assignment were not good. The tests had questions different from the questions in the textbook. This might have worked better if I had given some of the same questions or provided hints after a wrong answer.

I gave the same questions as Part V & VI of the first and third TOEIC. The scores my students obtained indicated that they could make themselves minimally understood in ordinary conversation, which is good for non-English major sophomores.

I gave exercises for the TOEIC and STEP with a multiple-choice questions. Students did very poorly for the first trial and not much better for the second trial. The multiple-choice questions are not easy, but students felt more comfortable with them than fill-in-the blank or write-in questions.

I gave grammar exercises with questions on mistakes Japanese students often make. These were difficult, and since there were no hints, the scores for the second trial were not much better. This type of exercise would be very effective with good hints.

I gave paragraph reading comprehension exercises and paragraph organization exercises. For the former, students read a paragraph and answered questions. They had difficulty remembering information, so they need more practice of this kind. The latter included explanations of organization, topic sentences, main ideas, transitions, and types of

paragraphs. Students had difficulty at first, but did better later.

I continued a series of readings begun in the first semester on the US and Japan. Students did exercises faster and more accurately. Paragraph exercises described above might have had an influence. Another factor may be familiarity.

In December, I gave the Form G Reading Test I had given in May. Students' scores did not improve much. This may be because handling CAI is difficult, or because the materials are too difficult. However, students' times were cut in half. They may have become more accustomed to working with computers.

I also gave the Form H Reading Test, a more difficult version of Form G. The students scored 42.3% and spent as much time as the paper test. They may pay less attention to CAI materials than paper materials.

I also gave readings longer than one paragraph. Students had difficulty with long passages, so they might be presented better with printed materials. Also if I had students answer in complete sentences, they had trouble. In high school English lessons, students had not studied writing in complete sentences.

For self study, I made TOEIC grammar exercises with Japanese explanations. The students felt comfortable this way. These materials were easy. For CAI, easier materials seem to be most effective. We often make materials too difficult for students.

Materials must be easy to understand, there should be many examples, and procedures must be easy to follow. If students are not good typists, exercises cannot require much typing. The purpose should be clear and exercises limited to that purpose. Many easy lessons are better than a few difficult ones.

After the semester, we made a program that lists errors for each question. Using the list, I revised the materials. If 50-60% or fewer got a question right, I tried to analyze the cause and improve the question. We also made it possible for students to set the maximum time, minimum

score and whether they would see the hints and correct answers when they give wrong ones.

資料 1 1990年度後期使用 CAI 教材一覧

読解練習 (日米文化比較) (解答は穴埋めで, 語か語群)

月日	教材名	問題数	内 容
9 26	VEWQ Q55	5	Movements Used in Eating
10 3			
9 26	VEWQ Q56	10	How Food is Served at a Meal
10 3			
9 26	VEWQ Q57	10	Bad Manners in Eating
10 3			
10 8	VEWQ Q58	10	How Many Meals Do Japanese and Americans Eat?
10 8	VEWQ Q59	8	Japanese and American Breakfast
10 8	VEWQ Q60	10	Ordinary Drinks in Restaurants
10 17	VEWQ Q61	10	Main Dishes
10 17	VEWQ Q62	10	Grocery Shopping
10 24	VEWQ Q63	10	Food Displays in Restaurants
10 24	VEWQ Q64	10	What Guests are Served
10 24	VEWQ Q65	8	Restaurants
10 31	VEWQ Q66	8	How Alcohol is Served
10 31	VEWQ Q67	10	Making Noise at the Table
10 31	VEWQ Q68	8	Blowing the Nose
	計	14	127

読解練習 (夏休みの宿題: An American Sampler 4) (解答は穴埋めで, 語か語群)

月日	教材名	問題数	内 容
10 3	VEWQ Q50	30	Efficiency Paranoia New Approach on Marijuana My Aversion to Shopping
10 17	VEWQ Q51	40	Alaskan Arts and Crafts Pedal Your Way to Pleasure Gone with the Wind
10 24	VEWQ Q52	35	Managing Your Money How to Protect Yourself from Consumer Ripoffs Safe Driving Techniques

10	31	VEWQ Q53	20	Shamrocks The Chase Exchange
11	7	VEWQ Q54	30	Alcatraz A Generation of Cynics
		計	5	155

読解練習 Holidays in the United States (英潮社:1989年)

月日	教材名	問題数	内	容
11	7	VEW1 Q81	10	American Holidays
11	7	VEW1 Q82	12	Martin Luther King's Birthday
11	7	VEW1 Q83	15	Abraham Lincoln's Birthday
11	7	VEW1 Q84	15	St. Valentine's Day
11	14	VEW1 Q85	15	George Washington's Birthday
12	5	VEW8 Q85	同	上
11	14	VEW1 Q86	17	Easter
12	5	VEW8 Q86	同	上
11	14	VEW1 Q87	12	Mother's Day
11	14	VEW1 Q88	12	Memorial Day
11	21	VEW1 Q89	21	Independence Day (Fourth of July)
11	21	VEW1 Q90	12	Labor Day
11	21	VEW1 Q91	14	Columbus Day
12	5	VEW8 Q91	同	上
11	21	VEW1 Q92	16	Halloween
12	5	VEW8 Q92	同	上
12	5	VEW1 Q93	13	Veterans Day
12	5	VEW8 Q94	17	Thanksgiving
12	5	VEW8 Q95	14	Christmas
12	5	VEW8 Q96	13	New Year s
		計	16	228

パラグラフ読解 Understanding English Paragraphs (文) (英潮社:1990年)

月日	教材名	問題数	内	容
9	26	VEWQ Q71	12	Ch 1 Why I Like Brazil Singapore and Malaysia

10 3	VEWQ Q72	11	Ch 2 P 1	Why You Should Learn to Use a Word Processor Making Conversation with Americans
10 3	VEWQ Q73	12	Ch 2 P 2	Popularity of Football Colonial Williamsburg
10 8	VEWQ Q74	10	Ch 3	New Orleans Beautiful Prague
10 17	VEWQ Q75	16	Review I	The Battle of New Orleans Exploration of New World Japan and Great Britain
10 17	VEWQ Q76	16	Ch 4 P 1	My Grandfather My Apartment The Grand Canyon
10 24	VEWQ Q77	17	Ch 5 P 1	George Washington and the Cherry Tree Visiting Southeast Asia Sally Ride
10 24	VEWQ Q78	15	Ch 6 P 1	Examination Hell Reasons for Studying a Foreign Language Abraham Lincoln—One of America's Great Presidents
10 31	VEWQ Q79	15	Ch 7 P 1	More Haste, Less Speed American Students Hungarian Weddings
10 31	VEWQ Q80	12	Review II	The Progress of American Women Machu Picchu
10 31	VEWQ Q81	10	Review II	Sainte-Chapelle The Crow and the Pitcher
11 7	VEWQ Q82	10	Ch 8 P 1	Types of Books Clubs in the United States
11 7	VEWQ Q83	12	Ch 8 P 2	Types of Articles of American Newspapers The Ethnic Groups of Czechoslovakia

11 14	VEWQ Q84	15	Ch 9	The Sections of the Human Body The United States Government Chile
11 14	VEWQ Q85	15	Ch 10	Pearl Harbor The Effect of Printing on American Democracy Being a Foreigner in Japan
11 14	VEWQ Q86	15	Ch 11	Southeast Asian Independence Movements Women's Rights in the United States The Great Depression
11 21	VEWQ Q87	10	Review III	The Continental United States The Tourist Attractions of Rome
11 21	VEWQ Q88	10	Review III	The Baby "Boomlet" China's Special Economic Zones
12 5	VEWQ Q89	14	Ch 12	Seattle and San Francisco Macao and Hong Kong President Lincoln and President Kennedy
12 12	VEWQ Q90	15	Ch 13 P 1	Akiyoshido and Kagekiyodo The Amish Romania and Bulgaria
12 12	VEWQ Q91	15	Ch 14	Brazil and Argentina California and New York Japanese Americans and Jewish Americans
12 12	VEWQ Q92	10	Ch 15	Improving Reading Skills Too Busy
12 19	VEWQ Q93	12	Review IV	Switzerland and Austria American and Japanese Diets
12 19	VEWQ Q94	12	Review IV	Erosion at Niagara Falls Two British Cities
1 9	VEWQ Q95	10	Ch 16	New Orleans
1 9	VEWQ Q96	8	Ch 17 P 1	Abraham Lincoln—One of America's Great Presidents (Chapter 6)

1	9	VEWQ Q97	12	Ch 17 P 2	The United States Government (Chapter 9)
1	9	VEWQ Q98	10	Ch 17 P 3	Japanese Americans and Jewish Americans (Chapter 14)
		計	28		351

Nonverbal Communication (短文穴埋め：単語) (American Patchwork 朝日出版：1990年)

月日	教材名	問題数	内	容
10 24	VEW1 Q33	5	P 1	Introduction
10 24	VEW1 Q34	26	P 2	Gestures
10 24	VEW1 Q35	11	P 3	Research Paper
10 31	VEW1 Q36	11	P 4	Time
10 31	VEW1 Q37	21	P 5	Space
12 5	VEW8 Q37		同	上
10 31	VEW1 Q38	4	P 6	Experiment on Personal Space or Territory
10 31	VEW1 Q39	26	P 7	Touch
	計	7		104

American History (穴埋め解答) (American Potluck, American Panorama, American Patchwork, American Portrait 朝日出版)

月日	教材名	問題数	内	容
12 19	VEW8 Q01	10		The European Exploration of the New World
12 19	VEW8 Q02	10		Colonial New England
12 19	VEW8 Q03	12		The Dawn of American Independence: Boston and the American Revolution
12 19	VEW8 Q04	13		The Revolutionary War
12 19	VEW8 Q05	13		The Lewis and Clark Expedition
1 9	VEW8 Q06	12		The Westward Expansion
1 9	VEW8 Q07	10		Industrialization
1 9	VEW8 Q08	15		San Francisco and the Gold Rush

1 9	VEW8 Q09	10	The Civil War
1 9	VEW8 Q10	15	Hawaii
1 14	VEW8 Q11	16	The Great Depression
1 14	VEW8 Q12	11	Pearl Harbor
1 14	VEW8 Q13	13	The Civil Rights Movement
1 14	VEW8 Q14	10	The United States and the Vietnam War
1 14	VEW8 Q15	13	America in Space: The First 25 Years
1 14	VEW8 Q16	7	The Women's Rights Movement
	計	16	190

読解テスト G

月日	教材名	問題数	内	容
12 5	VICQ Q90	5	Part 1	説明文
12 5	VICQ Q91	5	Part 2	会話文
12 5	VICQ Q92	5	Part 3	エッセイ
12 5	VICQ Q93	10	Part 4	時事文
12 5	VICQ Q94	5	Part 5	詩
	計	5	30	

読解テスト H

月日	教材名	問題数	内	容
1 9	VICQ Q95	10	Part 1	説明文
1 9	VICQ Q96	10	Part 2	会話文
1 9	VICQ Q97	5	Part 3	エッセイ
1 9	VICQ Q98	5	Part 4	時事文
1 9	VICQ Q99	5	Part 5	詩
	計	5	35	

パラグラフ理解 Understanding English Paragraphs (英潮社 1990年) (解答は穴埋め形式：数字と単語)

月日	教材名	問題数	内	容
9 26	VEWQ Q01	15	Ch 1	The English Paragraph

			Why I Like Brazil
			Singapore and Malaysia
10 3	VEWQ Q02	15	Ch 2 P 1 Main Ideas Why You Should Learn to Use a Word Processor Making Conversation with Americans
10 3	VEWQ Q03	17	Ch 2 P 2 Topic Sentences Popularity of Football Colonial Williamsburg
10 8	VEWQ Q04	18	Ch 3 P 1 Transitions in a Paragraph New Orleans
10 8	VEWQ Q05	18	Ch 3 P 2 Transitions in a Paragraph Beautiful Prague
10 17	VEWQ Q06	23	Review I P 1 True/False Questions
10 17	VEWQ Q07	29	Review I P 2 The Battle of New Orleans Exploration of the New World Japan and Great Britain
10 24	VEWQ Q08	16	Ch 4 P 1 Description My Grandfather
10 24	VEWQ Q09	21	Ch 4 P 2 Description My Apartment
10 24	VEWQ Q10	21	Ch 4 P 3 Description The Grand Canyon
10 31	VEWQ Q11	15	Ch 5 P 1 Narratives George Washington and the Cherry Tree
10 31	VEWQ Q12	36	Ch 5 P 2 Narratives Visiting Southeast Asia
10 31	VEWQ Q13	16	Ch 5 P 3 Narratives Sally Ride Passover
10 31	VEWQ Q14	30	Ch 6 P 1 Personal Opinion Examination Hell
10 31	VEWQ Q15	42	Ch 6 P 2 Personal Opinion Reasons for Studying a Foreign Language

10 31	VEWQ Q16	22	Ch 6 P 3 Personal Opinion Abraham Lincoln—One of America's Great Presidents
11 7	VEWQ Q17	20	Ch 7 P 1 Illustrations More Haste, Less Speed
11 7	VEWQ Q18	19	Ch 7 P 2 Illustrations American Students
11 7	VEWQ Q19	22	Ch 7 P 3 Illustrations Hungarian Weddings
11 7	VEWQ Q20	21	Review II P 1 T / F
11 7	VEWQ Q21	20	Review II P 2 Illustration The Progress of American Women
11 7	VEWQ Q22	20	Review II P 3 Personal Opinion Machu Picchu
11 7	VEWQ Q23	15	Review II P 4 Description Sainte-Chapelle
11 7	VEWQ Q24	14	Review II P 5 Narratives The Crow and the Pitcher
11 14	VEWQ Q25	21	Ch 8 P 1 Classification Types of Books
11 14	VEWQ Q26	29	Ch 8 P 2 Classification Clubs in the United States
11 14	VEWQ Q27	27	Ch 8 P 3 Classification Types of Articles of American Newspapers
11 14	VEWQ Q28	18	Ch 8 P 4 Classification The Ethnic Groups of Czechoslovakia
11 14	VEWQ Q29	24	Ch 9 P 1 Analysis The Section of the Human Body
11 14	VEWQ Q30	24	Ch 9 P 2 Analysis The United States Government
11 14	VEWQ Q31	28	Ch 9 P 3 Analysis Chile
11 21	VEWQ Q32	30	Ch 10 P 1 Cause and Effect (1) Pearl Harbor

11 21	VEWQ Q33	21	Ch 10 P 2 Cause and Effect (2) The Effect of Printing on American Democracy
11 21	VEWQ Q34	22	Ch 10 P 3 Cause and Effect (3) Being a Foreigner in Japan
11 21	VEWQ Q35	21	Ch 11 P 1 Cause and Effect (2) Southeast Asian Independence Movements
11 21	VEWQ Q36	24	Ch 11 P 2 Cause and Effect (2) Women's Rights in the United States
11 21	VEWQ Q37	21	Ch 11 P 3 Cause and Effect (2) The Great Depression
12 5	VEWQ Q38	18	Review III P 1 T / F
12 5	VEWQ Q39	23	Review III P 2 Analysis The Continental United States
12 5	VEWQ Q40	28	Review III P 3 Classification The Tourist Attractions of Rome
12 5	VEWQ Q41	18	Review III P 4 Cause and Effect (2) The Baby "Boomlet"
12 5	VEWQ Q42	20	Review III P 5 Cause and Effect (1) China's Special Economic Zones
12 12	VEWQ Q43	28	Ch 12 P 1 Comparison Seattle and San Francisco
12 12	VEWQ Q44	20	Ch 12 P 2 Comparison Macao and Hong Kong
12 12	VEWQ Q45	26	Ch 12 P 3 Comparison President Lincoln and President Kennedy
12 12	VEWQ Q46	26	Ch 13 P 1 Contrast Akiyoshido and Kagekiyodo
12 12	VEWQ Q47	28	Ch 13 P 2 Contrast The Amish
12 12	VEWQ Q48	21	Ch 13 P 3 Contrast Romania and Bulgaria
12 19	VEWQ Q49	25	Ch 14 P 1 Comparison and Contrast Brazil and Argentina

12 19	VEWQ Q50	27	Ch 14 P 2 Comparison and Contrast California and New York
12 19	VEWQ Q51	25	Ch 14 P 3 Comparison and Contrast Japanese Americans and Jewish Americans
12 19	VEWQ Q52	29	Ch 15 P 1 Problem-Solution Improving Reading Skills
12 19	VEWQ Q53	21	Ch 15 P 2 Problem-Solution Too Busy
12 19	VEWQ Q54	15	Review IV P 1 T/F
12 19	VEWQ Q55	26	Review IV P 2 Contrast Switzerland and Austria
12 19	VEWQ Q56	20	Review IV P 3 Comparison and Contrast American and Japanese Diets
12 19	VEWQ Q57	24	Review IV P 4 Problem-Solution Erosion at Niagara Falls
12 19	VEWQ Q58	25	Review IV P 5 Contrast Two British Cities
1 14	VEWQ Q59	12	From Paragraphs to Essays New Orleans
1 14	VEWQ Q60	30	From Paragraphs to Essays New Orleans
1 14	VEWQ Q61	13	Reading Essays Abraham Lincoln—One of America's Great Presidents
1 14	VEWQ Q62	30	Reading Essays Abraham Lincoln—One of America's Great Presidents
1 14	VEWQ Q63	12	Reading Essays The United States Government (Chapter 9)
1 14	VEWQ Q64	35	Reading Essays The United States Government (Chapter 9)
1 14	VEWQ Q65	15	Reading Essays Japanese Americans and Jewish Americans (Chapter 14)

J 14	VEWQ Q66	35	Reading Essays Japanese Americans and Jewish Americans (Chapter 14)
	計	66	1490

TOEICの文法練習 (ヒントなし)

月日	教材名	問題数	内	容
9 26	FECQ Q01	40	第1回問題	Part V
9 26	FECQ Q02	20	第1回問題	Part VI
9 26	FECQ Q11	40	練習問題	
9 26	FECQ Q12	40	練習問題	
10 3	FECQ Q13	50	練習問題	
10 8	FECQ Q14	60	練習問題	
10 8	FECQ Q15	40	練習問題	
10 8	FECQ Q16	50	練習問題	
10 17	FECQ Q17	50	練習問題	
10 24	FECQ Q04	40	第1回問題	Part V
10 24	FECQ Q05	20	第1回問題	Part VI
	計	11	450	

英語検定試験準1級練習問題

月日	教材名	問題数	内	容
10 3	FECQ Q10	50	語彙	(ヒントなし)
12 19	FECQ Q09	50	文法	(ヒントなし)
	計	2	100	

日本人のよくする文法の間違い (ヒントなし)

月日	教材名	問題数	内	容
9 26	FEWQ Q41	30	練習問題	
9 26	FEWQ Q42	30	練習問題	
10 3				
9 26	FEWQ Q43	30	練習問題	
10 3				

9 26	FEWQ Q44	30	練習問題
10 3			
10 24			
10 8	FEWQ Q45	30	練習問題
10 8	FEWQ Q46	30	練習問題
10 17	FEWQ Q47	30	練習問題
10 17	FEWQ Q48	30	練習問題
	計	8	240

TOEICの文法 上下巻 (ユニコム：1991) (日本語の解説)

月日	教材名	問題数	内 容
12 19	VECQ Q50	(43)	10. 前置詞 前置詞の種類と形式、主な前置詞の意味 総合練習問題
12 19	VECQ Q51	38	11. 接続詞 等位接続詞、従属接続詞 総合練習問題
12 19	VECQ Q52	43	12. 関係詞 関係代名詞、関係形容詞、関係副詞 総合練習問題
12 19	VECQ Q53	60	13. 実力(診断) テスト
	計	3	141
合計	186	3.641	

タイプの復習

月日	教材名	問題数	内 容
9 26	TYPQ Q09	90	TYP8 Q21と同じ 中段 各文字
10 3			
9 26	TYPQ Q19	100	TYP8 Q22と同じ 中上段 組合せ 単語 大文字 文
10 3			
9 26	TYPQ Q29	100	TYP8 Q23と同じ 中上下段 単語
10 3			
10 3	TYPQ Q39	40	TYP8 Q24と同じ 中上下段 文
10 3	TYPQ Q49	80	TYP8 Q25と同じ 中上下段 文

10	3	TYPQ	Q59	50	TYP8 Q26と同じ	最上段	上記の難しいもの
10	8	TYPQ	Q73	30	中上下段	FEWQ	Q31の解答部分
10	8	TYPQ	Q83	30	中上下段	FEWQ	Q32の解答部分
10	8	TYPQ	Q93	30	中上下段	FEWQ	Q33の解答部分
10	17	TYPQ	Q74	30	中上下段	FEWQ	Q34の解答部分
10	17	TYPQ	Q84	30	中上下段	FEWQ	Q35の解答部分
10	17	TYPQ	Q94	30	中上下段	FEWQ	Q36の解答部分
10	24	TYPQ	Q75	30	中上下段	FEWQ	Q40の解答部分
10	24	TYPQ	Q85	30	中上下段	FEWQ	Q41の解答部分
10	24	TYPQ	Q95	30	中上下段	FEWQ	Q42の解答部分
10	31	TYP8	Q45	30	中上下段	FEWQ	Q37の解答部分
10	31	TYP8	Q55	30	中上下段	FEWQ	Q38の解答部分
10	31	TYPQ	Q65	30	中上下段	FEWQ	Q39の解答部分
11	7	TYP8	Q46	40	最上段と中段		
11	7	TYP8	Q56	40	最上段と下段		
11	7	TYP8	Q66	40	最上段と中上段	数字と単語	
11	7	TYP8	Q76	20	最上段	大文字と小文字	
		計	22	960			

(教材がうまく作動しない場合は、プログラムを変更して再度実施した)

資料 2 1992年度後期英語 CBI 講読クラスの記録

9月19日 台風で休講

第14回 9月26日 出席 40名 欠席が目だつ

夏休みの話

TOEICの話

夏休みの宿題回収、来週から3課ずつテストを再度予告

前期の成績の説明

後期分の記録表の配布

タイプの復習

正しい姿勢

指を使用していないときにはホームポジションにいつも置いておく

正しい指でキーをたたく

正確にキーをたたく

キーボードを見ずにタイプする

速くタイプする

いつも同じスピードでタイプするようにする

緊張し過ぎないようにする

夏休みでスピードが激減、ファイルも全然できない

クラス： FECQ Q01, Q02 VEWQ Q71, Q01 FEWQ Q41

宿題： FECQ Q11, Q12 VEWQ Q55, Q56, Q57 FEWQ Q42 Q43, Q44

TYPQ Q09, Q19, Q29

第15回 10月3日 出席 45名

前回の成績を発表

TOEICの成績の説明

VEWQ Q71, Q01を必ずするように

American Sampler Book 4 1-3 テスト

英検語彙練習

先週の分を再度させる。

クラス： FECQ Q10 VEWQ Q50, Q72, Q73 Q02, Q03

宿題： FECQ Q13 VEWQ Q55, Q56, Q57 FEWQ Q42, Q43, Q44

TYPQ Q09, Q19, Q29, Q39, Q49, Q59

第16回 10月8日 出席者(46)名 クラスはせずに指示のみ(体育の日の代わり)

VEWQ Q74, Q04, Q05. Q58, Q59 FECQ Q14, Q15

FEWQ Q45, Q46 FECQ Q16 VEWQ Q60

TYPQ Q73, Q83. Q93

第17回 10月17日 出席 44名 3名は脱落?

後期の中心の教材が、パラグラフの理解、パラグラフの読解、文章の読解の順であることを確認

各自のメモリーをリストCで確認する場合は、実行キーで2頁目も見ることを注意。

期限までにすること、遅れた場合は解答を送信しないこと

余分なファイルは申しでること

テキストに問題がでる

今ごろ時間の記録を提出して来るものが数名いた

解答の回復方法と送信方法 ANSRE

クラス： VEWQ Q51. Q75, Q76, Q06, Q07 FECQ Q17

宿題： FEWQ Q47, Q48 VEWQ Q61, Q62

TYPQ Q74, Q84, Q94

第18回 10月24日 出席 45名 2名は脱落

クラス： VEWQ Q52, Q77, Q08, Q09, Q10 FECQ Q04, Q05

宿題： FEWQ Q44 VEWQ Q78, Q63, Q64, Q65

VEW1 Q33, Q34, Q35 TYPQ Q75, Q85. Q95

第19回 10月31日 出席 46名 2名は脱落

クラス： VEWQ Q53, Q79, Q11, Q12, Q13, Q66, Q67, Q68

宿題： VEWQ Q80, Q81. Q14, Q15, Q16

VEW1 Q36, Q37. Q38, Q39 TYPQ Q45, Q55, Q65

第20回 11月7日 出席 43名 2名は脱落

クラス： VEWQ Q54, Q17, Q18, Q19, Q20, Q21. Q22, Q23, Q24

宿題： VEWQ Q82, Q83 VEW1 Q81. Q82, Q83, Q84

TYPQ Q46, Q56. Q66, Q76

第21回 11月14日 出席 43名 2名は脱落

クラス： VEWQ Q25, Q26. Q27, Q28, Q29, Q30, Q31, Q84

宿題： VEWQ Q85, Q86 VEW1 Q85, Q86, Q87, Q88

第22回	11月21日	出席 46名	2名は脱落
		VEWQ Q32, Q33, Q34, Q35, Q36, Q37, Q87, Q88	
		VEW1 Q89, Q90, Q91, Q92	

第23回	12月5日	出席 47名	2名は脱落
		VICQ Q90, Q91, Q92, Q93, Q94	VEWQ Q89, Q38, Q39, Q40, Q41, Q42
		VEW1 Q93, Q94, Q95, Q96	
		VEW8 Q37, Q85, Q86, Q91, Q92, Q94, Q95, Q96	

第24回	12月12日	出席 46名	2名は脱落
		VEWQ Q43, Q44, Q45, Q46, Q47, Q48, Q90, Q91, Q92	

第25回	12月19日	出席 46名	2名は脱落
		VEWQ Q49, Q50, Q51, Q52, Q53, Q54, Q55, Q56, Q57, Q58, Q93, Q94	
		FECQ Q09	VECQ Q50, Q51, Q52, Q53
		VEW8 Q01, Q02, Q03, Q04, Q05	

第26回	1月9日	出席 47名	2名は脱落
		VEWQ Q95, Q96, Q97, Q98	VICQ Q95, Q96, Q97, Q98, Q99
		VEW8 Q06, Q07, Q08, Q09, Q10	

第27回	1月14日	出席 (31) 名	2名は脱落
		VEW8 Q59, Q60, Q61, Q62, Q63, Q64, Q65, Q66	
		VEW8 Q11, Q12, Q13, Q14, Q15, Q16	

資料 3 各クラスの課題の結果

9/26 の成績	N	TIME	NQ	1	2	1 %	2 %	
FECQ Q01	45	13・50	40	20.9	30.8	52.2	76.9	TOEIC Part V
FECQ Q02	44	7 02	20	9.9	14.3	49.3	71.7	TOEIC Part VI
FECQ Q11	43	9・46	40	25.7	33.2	64.1	83.0	TOEIC の練習
FECQ Q12	43	9 27	40	24.0	32.1	60.1	80.3	TOEIC の練習
FEWQ Q41	40	22・26	30	19.6	23.6	65.4	78.8	よくする誤り
VEWQ Q71	47	18 46	12	4.9	7.7	40.4	64.5	パラグラフ読み
VEWQ Q01	46	8・55	15	7.9	10.1	52.5	67.1	パラグラフ読解
		1.30.12						
10/3 の成績	N	TIME	NQ	1	2	1 %	2 %	
FECQ Q10	44	13:47	50	24.8	37.0	49.6	74.0	英検準1語彙練習
FECQ Q13	40	10:34	50	24.9	35.8	49.8	71.7	TOEIC の練習
FEWQ Q42	45	21:01	30	16.8	19.8	55.9	66.0	よくする誤り
FEWQ Q43	45	18:43	30	16.5	18.6	54.9	62.0	よくする誤り
FEWQ Q44								よくする誤り
VEWQ Q50	44	13・51	30	14.3	20.7	47.7	68.9	夏休み宿題試験
VEWQ Q72	41	20:39	11	3.2	6.0	29.5	54.8	パラグラフ読み
VEWQ Q73	39	20・21	12	3.5	7.3	29.1	60.9	パラグラフ読み
VEWQ Q02	38	9 59	15	7.7	10.1	51.4	67.4	パラグラフ読解
VEWQ Q03	37	9・23	17	10.4	12.7	61.4	74.9	パラグラフ読解
VEWQ Q55	42	3・05	5	2.9	3.8	57.6	76.7	日米文化比較
VEWQ Q56	42	5・18	10	5.7	7.6	56.9	76.4	日米文化比較
VEWQ Q57	42	5:04	10	5.9	8.0	59.3	80.0	日米文化比較
		2:31:45						
TYPQ Q09	33	7:09	90	88.9	89.9	98.8	99.9	タイプ
TYPQ Q19	33	11:02	100	96.4	99.5	96.4	99.5	タイプ
TYPQ Q29	32	6:51	100	97.9	99.9	97.9	99.9	タイプ
TYPQ Q39	33	7:40	40	38.4	39.7	96.0	99.2	タイプ
TYPQ Q49	25	10:53	80	76.4	79.3	95.5	99.1	タイプ
TYPQ Q59	23	3:17	50	48.5	49.5	97.0	99.0	タイプ
		46:52						

10/8 の成績	N	TIME	NQ	1	2	1 %	2 %	
FECQ Q14	42		60	29.8	44.4	49.7	74.0	TOEIC の練習
FECQ Q15	42	7:34	40	22.1	31.2	55.2	78.0	TOEIC の練習
FECQ Q16	42	10:17	50	22.4	34.1	44.7	68.1	TOEIC の練習
FEWQ Q45	42	18:09	30	15.8	17.6	52.5	58.7	よくする誤り
FEWQ Q46	42	15:25	30	17.4	19.5	57.9	64.9	よくする誤り
VEWQ Q74	42	13:58	10	3.9	6.2	38.6	62.1	パラグラフ読み
VEWQ Q04	38	7:18	18	10.8	12.7	59.9	70.3	パラグラフ読解
VEWQ Q05	37	6:30	18	10.9	13.1	60.7	72.5	パラグラフ読解
VEWQ Q58	41	5:00	10	6.0	8.4	60.2	83.7	日米文化比較
VEWQ Q59	36	3:43	8	5.1	7.4	64.2	92.7	日米文化比較
VEWQ Q60	43	5:36	10	5.4	7.8	53.7	78.1	日米文化比較
		1:33:30						
TYPQ Q73	27	9:22	30	28.1	29.9	93.6	99.5	タイプ
TYPQ Q83	44	15:27	30	28.1	29.7	93.6	98.9	タイプ
TYPQ Q93	23	11:54	30	28.0	29.5	93.3	98.4	タイプ
		36:43						
10/17 の成績	N	TIME	NQ	1	2	1 %	2 %	
FECQ Q17	44	8:16	50	31.6	41.3	63.1	82.7	TOEIC の練習
FEWQ Q47	36	18:54	30	18.1	20.3	60.4	67.8	よくする誤り
FEWQ Q48	40	21:33	30	14.6	16.7	48.6	55.7	よくする誤り
VEWQ Q51	47	11:33	40	19.9	27.9	49.7	69.7	夏休み宿題試験
VEWQ Q75	47	18:40	16	6.1	9.4	38.4	58.8	パラグラフ読み
VEWQ Q76	41	14:26	16	9.0	12.1	56.6	75.6	パラグラフ読み
VEWQ Q06	47	3:38	23	14.7	22.5	64.1	98.0	パラグラフ読解
VEWQ Q07	47	8:17	29	17.7	21.9	61.2	75.5	パラグラフ読解
VEWQ Q61	41	4:17	10	6.2	8.6	62.4	86.3	日米文化比較
VEWQ Q62	41	5:28	10	5.9	7.9	59.0	78.5	日米文化比較
		1:55:07						
TYPQ Q74	29	9:39	30	27.9	29.4	93.1	98.2	タイプ
TYPQ Q84	23	11:59	30	28.1	29.6	93.6	98.6	タイプ
TYPQ Q94	24	9:50	30	28.2	29.8	94.0	99.2	タイプ
		31:28						

10/24の成績	N	TIME	NQ	1	2	1%	2%	
FECQ Q04	42	7:45	40	17.8	28.2	44.5	70.5	TOEIC Part V
FECQ Q05	41	3:53	20	9.4	13.9	47.0	69.3	TOEIC Part VI
FEWQ Q44	35	19:32	30	16.1	18.7	53.6	62.2	よくする誤り
VEWQ Q52	46	9:26	35	16.3	24.4	46.7	69.8	夏休み宿題試験
VEWQ Q77								パラグラフ読み
VEWQ Q78	41	17:58	15	6.6	9.1	44.2	60.5	パラグラフ読み
VEWQ Q08	46	6:57	16	8.0	9.0	50.0	56.1	パラグラフ読解
VEWQ Q09	44	8:51	21	8.8	11.4	41.8	54.3	パラグラフ読解
VEWQ Q10	43	7:55	21	9.1	11.7	43.4	55.7	パラグラフ読解
VEWQ Q63	42	5:08	10	5.5	7.8	55.2	78.1	日米文化比較
VEWQ Q64	42	4:32	10	6.3	8.5	62.9	84.8	日米文化比較
VEWQ Q65	42	4:55	8	4.4	5.8	54.8	72.9	日米文化比較
VEW1 Q33	33	3:25	25	2.6	4.4	52.0	88.0	非言語コミュニケーション
VEW1 Q34	34	10:03	26	13.5	16.7	51.7	64.3	非言語コミュニケーション
VEW1 Q35	14	11:38	11	1.9	3.5	17.5	31.8	非言語コミュニケーション
		2:01:58						
TYPQ Q75	8	10:04	30	28.3	29.8	94.2	99.2	タイプ
TYPQ Q85	19	10:15	30	28.5	29.7	95.1	99.1	タイプ
TYPQ Q95	18	11:41	30	27.0	29.6	90.0	98.5	タイプ
		32:00						
10/31の成績	N	TIME	NQ	1	2	1%	2%	
VEWQ Q53	46	3:48	20	9.9	16.5	49.3	82.5	夏休み宿題試験
VEWQ Q79	47	19:36	15	5.7	10.3	38.2	68.8	パラグラフ読み
VEWQ Q80	42	11:37	12	5.5	8.6	45.4	71.8	パラグラフ読み
VEWQ Q81	43	9:33	10	5.0	8.1	50.0	80.9	パラグラフ読み
VEWQ Q11	47	3:46	15	9.4	11.4	62.7	75.7	パラグラフ読解
VEWQ Q12	47	9:34	36	23.5	27.3	65.2	75.9	パラグラフ読解
VEWQ Q13	47	7:12	16	9.3	11.3	58.3	70.9	パラグラフ読解
VEWQ Q14	41	7:55	30	20.4	23.3	68.0	77.8	パラグラフ読解
VEWQ Q15	41	8:34	42	27.2	32.1	64.8	76.4	パラグラフ読解
VEWQ Q16	41	4:00	22	15.9	18.0	72.4	81.8	パラグラフ読解
VEWQ Q66	45	4:26	8	3.7	5.9	46.1	74.2	日米文化比較

VEWQ Q67	45	5 26	10	4.5	7.6	45.1	75.8	日米文化比較
VEWQ Q68	45	4:58	8	3.1	5.4	38.3	67.8	日米文化比較
VEW1 Q36	17	9 59	11	5.7	7.7	51.9	70.1	非言語コミュニケーション
VEW1 Q37								非言語コミュニケーション
VEW1 Q38	13	4:25	4	1.1	1.5	26.9	36.5	非言語コミュニケーション
VEW1 Q39	13	9:16	26	13.5	16.5	51.8	63.3	非言語コミュニケーション
		2:04 05						
TYPQ Q45	8	8.00	30	28.8	29.6	95.8	98.7	タイプ
TYPQ Q55	3	4.47	30	27.3	29.7	91.1	98.9	タイプ
TYPQ Q65	4	7:32	30	28.3	29.5	94.2	98.3	タイプ
		20:19						
<hr/>								
11/7 の成績	N	TIME	NQ	1	2	1%	2%	
VEWQ Q54	43	4:18	30	14.8	23.6	49.4	78.5	夏休み宿題試験
VEWQ Q82	44	10:59	10	3.8	7.6	38.4	75.7	パラグラフ読み
VEWQ Q83	42	12:09	12	5.2	8.1	43.5	67.3	パラグラフ読み
VEWQ Q17	43	6 59	20	11.0	13.6	55.2	68.0	パラグラフ読解
VEWQ Q18	43	4 19	19	11.7	13.6	61.7	71.7	パラグラフ読解
VEWQ Q19	46	1 39	6	3.4	4.6	57.2	77.2	パラグラフ読解
VEWQ Q20	46	3 02	21	13.1	20.7	62.4	98.6	パラグラフ読解
VEWQ Q21	46	3:43	20	14.8	16.6	74.2	82.8	パラグラフ読解
VEWQ Q22	46	3:35	20	13.4	15.1	67.1	75.5	パラグラフ読解
VEWQ Q23	46	4:16	15	8.0	9.2	53.3	61.3	パラグラフ読解
VEWQ Q24	45	1 58	14	10.9	12.3	77.8	87.8	パラグラフ読解
VEWJ Q81	21	7 45	10	3.5	4.5	35.0	45.0	アメリカの祝祭日
VEW1 Q82	18	8 38	12	6.5	7.3	54.2	61.1	アメリカの祝祭日
VEW1 Q83	16	9 52	15	5.7	6.9	37.9	45.8	アメリカの祝祭日
VEW1 Q84	16	8 40	15	5.6	6.8	37.5	45.0	アメリカの祝祭日
		1:31 52						
TYPQ Q46	22	2 53	40	38.6	40.0	96.6	99.9	タイプ
TYPQ Q56	48	3:23	40	38.6	39.9	96.5	99.7	タイプ
TYPQ Q66	18	4.56	40	39.4	39.9	98.6	99.7	タイプ
TYPQ Q76	18	2:47	20	19.4	20.0	96.9	100.0	タイプ
		13:59						

11/14の成績	N	TIME	NQ	1	2	1%	2%	
VEWQ Q84	45	15:03	15	6.2	10.8	41.0	72.0	パラグラフ読み
VEWQ Q85	41	15:40	15	5.3	9.1	35.6	60.8	パラグラフ読み
VEWQ Q86	37	17:45	15	6.2	9.7	41.1	64.9	パラグラフ読み
VEW1 Q85								パラグラフ読み
VEW1 Q84								パラグラフ読み
VEW1 Q87	21	6:57	12	6.6	7.4	54.8	61.9	アメリカの祝祭日
VEW1 Q88	20	7:56	12	5.0	5.8	41.7	48.3	アメリカの祝祭日
VEWQ Q25	45	6:52	21	11.2	13.7	53.5	65.1	パラグラフ読解
VEWQ Q26	45	5:22	29	21.4	24.5	73.9	84.5	パラグラフ読解
VEWQ Q27	45	4:29	27	23.1	24.8	85.5	91.8	パラグラフ読解
VEWQ Q28	45	2:43	18	15.3	16.4	85.1	90.9	パラグラフ読解
VEWQ Q29	45	4:05	24	19.3	21.8	80.3	90.7	パラグラフ読解
VEWQ Q30	45	3:43	24	18.2	20.8	75.6	86.6	パラグラフ読解
VEWQ Q31	45	4:14	28	25.1	26.5	89.6	94.8	パラグラフ読解
		1:34:49						

11/21の成績	N	TIME	NQ	1	2	1%	2%	
VEWQ Q87	44	10:04	10	3.9	6.7	38.6	66.8	パラグラフ読み
VEWQ Q88	42	10:56	10	3.1	5.0	31.4	50.8	パラグラフ読み
VEW1 Q89	36	6:05	21	9.9	11.9	47.1	56.5	アメリカの祝祭日
VEW1 Q90	35	8:48	12	5.2	5.9	43.6	49.3	アメリカの祝祭日
VEW1 Q91								アメリカの祝祭日
VEW1 Q92								アメリカの祝祭日
VEWQ Q32	47	12:49	30	15.7	18.8	52.3	62.7	パラグラフ読解
VEWQ Q33	47	3:44	21	14.7	16.9	70.1	80.5	パラグラフ読解
VEWQ Q34	47	4:18	22	15.4	17.9	69.8	81.2	パラグラフ読解
VEWQ Q35	46	5:25	21	13.2	15.3	63.0	72.9	パラグラフ読解
VEWQ Q36	46	4:08	24	19.0	21.3	79.1	88.8	パラグラフ読解
VEWQ Q37	46	4:28	21	13.4	16.8	64.0	80.2	パラグラフ読解
		1:10:45						

12/5の成績	N	TIME	NQ	1	2	1%	2%	
VICQ Q90	47	2:44	5	2.3		46.4		読解テストG 1
VICQ Q91	47	2:46	5	3.3		66.0		読解テストG 2

VICQ Q92	47	3	20	5	3.0		60	0	読解テスト G 3
VICQ Q93	47	4	30	10	4.8		48	1	読解テスト G 4
VICQ Q94	47	2	26	5	2.2		44	3	読解テスト G 5
VEWQ Q89	46	19	24	14	5.0	7.5	35.6	53.9	ハラグラフ読み
VEWQ Q38	45	2	05	18	10.8	17.8	60.2	98.6	バラグラフ読解
VEWQ Q39	43	3	59	23	16.1	18.5	69.9	80.6	バラグラフ読解
VEWQ Q40	43	4	21	28	21.4	23.9	76.4	85.4	バラグラフ読解
VEWQ Q41	41	3	10	18	12.0	13.9	66.5	77.0	バラグラフ読解
VEWQ Q42	41	3	18	20	15.6	17.5	77.9	87.7	バラグラフ読解
VEW8 Q37	43	6	55	21	9.3	13.0	44.5	61.9	非言語コミュニケーション
VEW1 Q93	40	8	41	13	7.1	8.1	55.0	62.7	アメリカの祝祭日
VEW1 Q94									アメリカの祝祭日
VEW1 Q95									アメリカの祝祭日
VEW1 Q96									アメリカの祝祭日
VEW8 Q85	43	6	57	15	5.5	6.5	36.4	43.3	アメリカの祝祭日
VEW8 Q86	41	5	31	17	8.5	9.8	49.8	57.5	アメリカの祝祭日
VEW8 Q91	40	6	21	14	6.4	7.5	46.1	53.9	アメリカの祝祭日
VEW8 Q92	34	5	46	16	8.4	9.6	32.2	60.3	アメリカの祝祭日
VEW8 Q94	29	6	43	17	6.1	7.4	35.9	43.8	アメリカの祝祭日
VEW8 Q95	22	6	36	14	6.5	8.2	46.8	85.4	アメリカの祝祭日
VEW8 Q96	22	5	47	13	6.3	7.3	48.6	55.9	アメリカの祝祭日
1:51:20									

12/12 の成績	N	TIME	NQ	1	2	1 %	2 %		
VEWQ Q90	46		15	5.9	9.0	39.4	60.0	バラグラフ読み	
VEWQ Q91	47	18:06	15	6.3	9.5	41.8	63.4	バラグラフ読み	
VEWQ Q92	43	13:00	10	3.5	5.5	35.1	55.3	バラグラフ読み	
VEWQ Q43	44	6:51	28	16.5	20.0	58.8	71.5	バラグラフ読解	
VEWQ Q44	43	2:58	20	15.9	18.0	79.4	90.2	バラグラフ読解	
VEWQ Q45	41	4:11	26	20.2	23.0	77.6	88.6	バラグラフ読解	
VEWQ Q46	41	5:02	26	15.3	18.1	58.7	69.5	バラグラフ読解	
VEWQ Q47	39	3:39	28	21.6	24.9	77.1	88.8	バラグラフ読解	
VEWQ Q48	39	3:24	21	14.5	17.4	69.2	83.0	バラグラフ読解	
57:11									

12/19の成績	N	TIME	NQ	1	2	1%	2%	
FECQ Q09	45	8:43	50	21.6	33.5	43.2	66.9	英検準1級文法練習
VECQ Q53	45	11:18	60	33.6	49.9	56.1	83.1	TOEIC 英文法
VECQ Q52	46	9:21	43	29.0	38.2	67.4	88.8	TOEIC 英文法
VECQ Q51	45	7:12	38	26.5	34.1	69.7	89.6	TOEIC 英文法
VECQ Q50								TOEIC 英文法
VEWQ Q93	37	10:54	12	6.0	9.5	50.0	79.3	パラグラフ読み
VEWQ Q94	32	11:02	12	6.3	7.1	52.3	59.4	パラグラフ読み
VEWQ Q49	43	5:46	25	14.5	19.2	58.0	76.7	パラグラフ読解
VEWQ Q50	45	4:45	27	21.0	22.6	77.9	83.9	パラグラフ読解
VEWQ Q51	46	4:20	25	18.0	21.3	71.9	85.0	パラグラフ読解
VEWQ Q52	34	9:29	29	17.7	20.3	61.2	70.0	パラグラフ読解
VEWQ Q53	30	3:31	21	14.2	16.0	67.5	76.3	パラグラフ読解
VEWQ Q54	30	1:36	15	9.3	14.9	62.2	99.1	パラグラフ読解
VEWQ Q55	29	4:18	26	17.9	20.7	68.7	79.7	パラグラフ読解
VEWQ Q56	29	3:15	20	13.7	16.3	68.3	81.4	パラグラフ読解
VEWQ Q57	28	4:03	24	15.8	18.1	65.9	75.6	パラグラフ読解
VEWQ Q58	27	3:37	25	18.1	20.5	72.4	81.9	パラグラフ読解
VEW8 Q01	23	1:59	10	5.4	8.7	54.3	87.0	アメリカの歴史
VEW8 Q02	23	1:48	10	6.1	9.4	61.3	94.3	アメリカの歴史
VEW8 Q03	23	2:29	12	6.8	11.6	56.5	96.7	アメリカの歴史
VEW8 Q04	23	2:10	13	7.7	12.7	59.2	98.0	アメリカの歴史
VEW8 Q05	23	2:18	13	8.4	12.0	64.9	92.3	アメリカの歴史
	1	53	54					
1/9の成績	N	TIME	NQ	1	2	1%	2%	
VEW8 Q06	33	1:44	12	7.9	11.8	65.9	98.0	アメリカの歴史
VEW8 Q07	33	1:28	10	6.0	9.9	60.0	98.8	アメリカの歴史
VEW8 Q08	32	1:54	15	9.4	14.8	62.9	99.0	アメリカの歴史
VEW8 Q09	32	1:20	10	7.1	9.7	70.6	96.9	アメリカの歴史
VEW8 Q10	32	2:13	15	9.4	14.0	62.5	93.1	アメリカの歴史
VEWQ Q95	46		10	3.6	6.2	35.9	61.7	パラグラフ読み

VEWQ Q96	46	11:58	8	2.6	5.0	32.9	62.8	パラグラフ読み
VEWQ Q97	45	10:35	12	5.2	8.5	43.7	70.6	パラグラフ読み
VEWQ Q98	45	9:24	10	3.9	6.6	38.7	65.6	パラグラフ読み
VICQ Q95	47	4:08	10	4.3		43.4		読解テストH 1
VICQ Q96	47	4:28	10	4.5		44.9		読解テストH 2
VICQ Q97	47	3:16	5	2.1		42.6		読解テストH 3
VICQ Q98	47	3:07	5	2.0		40.0		読解テストH 4
VICQ Q99	47	2:04	5	1.9		38.7		読解テストH 5
		57:39						
<hr/>								
1/14 の成績	N	TIME	NQ	1	2	1%	2%	
VEWQ Q59	36	3:46	12	7.5	8.8	62.9	73.5	パラグラフ読解
VEWQ Q60	21	3:12	30	23.8	27.6	79.2	91.9	パラグラフ読解
VEWQ Q61	21	3:07	13	8.0	10.0	61.9	76.6	パラグラフ読解
VEWQ Q62	21	2:28	30	27.5	29.7	91.7	98.9	パラグラフ読解
VEWQ Q63	22	2:49	12	8.1	9.5	67.7	80.1	パラグラフ読解
VEWQ Q64	22	2:30	35	30.5	33.3	87.9	97.0	パラグラフ読解
VEWQ Q65	22	3:05	15	9.5	11.4	64.4	77.4	パラグラフ読解
VEWQ Q66	22	2:52	35	27.5	31.5	81.8	93.1	パラグラフ読解
VEW8 Q11	21	1:35	16	9.2	15.4	57.7	96.4	アメリカの歴史
VEW8 Q12	19	1:09	11	6.3	10.7	56.9	97.6	アメリカの歴史
VEW8 Q13	18	1:07	13	7.7	11.9	59.4	91.5	アメリカの歴史
VEW8 Q14	18	0:56	10	5.1	9.0	50.6	90.0	アメリカの歴史
VEW8 Q15	18	1:10	13	7.4	12.2	57.3	94.0	アメリカの歴史
VEW8 Q16	17	0:56	7	4.1	6.3	58.8	89.9	アメリカの歴史
		30:42						
<hr/>								
合計		22:04:09		タイプ以外の教材				
<hr/>								
合計		3:01:21		タイプの教材				
<hr/>								

注

1 この研究は1990年度同志社大学学術奨励研究費の援助を受けて行った。この内容の解説は、既に『LL通信』162-165号で発表しているが、ここでは、データも添付して、詳しく検討する。

2 同志社大学の英語 CBI の開発の経過に関しては以下の文献を参照されたい。
北尾謙治 1992・3 同志社大学における英語購読 CBI の効果 (1) 「同志社大学英語英文学研究」 56号

北尾謙治 1990・12 英語 CAI の開発——同志社大学の場合 (1) 「LL通信」 156号

北尾謙治 1991・1 英語 CAI クラスの試み 「現代英語教育」 第27巻10号

北尾謙治 1991・2 英語 CAI の開発——同志社大学の場合 (2) 「LL通信」 157号

北尾謙治 1991・4 英語 CAI の開発——同志社大学の場合 (3) 「LL通信」 158号

北尾謙治 1991・6 英語 CAI の開発——同志社大学の場合 (4) 「LL通信」 159号

北尾謙治 1991・8 英語 CAI の開発——同志社大学の場合 (5) 「LL通信」 160号

北尾謙治 1991・10 英語 CBI の開発——同志社大学の場合 「同志社大学英語英文学研究」 54・55号

北尾謙治 1991・10 英語 CAI の開発——同志社大学の場合 (6) 「LL通信」 161号

北尾謙治 1991・12 英語 CAI の開発——同志社大学の場合 (7) 「LL通信」 162号

北尾謙治 1992・1 Developing English CBI Programs at Doshisha University 「同志社大学商学研究」 第43巻第4号

北尾謙治 1992・2 英語 CAI の開発——同志社大学の場合 (8) 「LL通信」 163号

北尾謙治他 1992・2 「CAI & 教育メディアショー'91」視察報告——今後の CAI を考える——「LL通信」 163号

北尾謙治 1992・4 英語 CAI の開発——同志社大学の場合 (9) 「LL通信」 164号

北尾謙治 1992・6 英語 CAI の開発——同志社大学の場合 (10) 「LL通信」 165号

北尾謙治 1992・9 CAI を始めよう——同志社大学の実践から——「英語教育」41巻7号

北尾謙治他 1992 はじめての CAI ——よりよい英語教育を求めて 山口書店

3 同内容のものが以下の CAI 教材として市販されている。

島谷浩・太田俊成 1993 グラマーマスター 英潮社